(19) 世界知的所有権機関 国際事務局





(43) 国際公開日 2005 年6 月30 日 (30.06.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/058963 A1

(51) **国際特許分類**⁷: **C07K 16/10**, C12N 15/09, C12P 21/08, A61K 39/42, G01N 33/563

(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/003046

(22) 国際出願日: 2004年3月9日(09.03.2004)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ: 特願 2003-418655

2003年12月16日(16.12.2003) JF

- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 財団 法人くまもとテクノ産業財団 (KUMAMOTO TECH-NOLOGY AND INDUSTRY FOUNDATION) [JP/JP]; 〒8612202 熊本県上益城郡益城町大字田原 2 O 8 1番 地 1 O Kumamoto (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 阪口 薫雄 (SAK-AGUCHI, Nobuo) [JP/JP]; 〒8600085 熊本県熊本市高平1-30-69 Kumamoto (JP). 桑原 一彦 (KUWA-HARA, Kazuhiko) [JP/JP]; 〒8620971 熊本県熊本市大江4-2-30 Kumamoto (JP). 蓑田 知江美 (MIN-ODA, Chiemi) [JP/JP]; 〒8620935 熊本県熊本市御領1丁目11-55 Kumamoto (JP).

- (74) 代理人: 小林 浩, 外(KOBAYASHI, Hiroshi et al.); 〒 1040028 東京都中央区八重洲二丁目 8 番 7 号 福岡ビル 9 階 阿部・井窪・片山法律事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

─ 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: ANTI-HIV ANTIBODY

(54) 発明の名称: 抗HIV抗体

(57) **Abstract:** It is intended to provide an anti-HIV antibody with high affinity. Namely, an antibody capable of binding to the gp120 glycoprotein of HIV and having a dissociation constant KD=1.0×10⁻⁹ (M) or lower, or its fragment; a medicinal composition containing this antibody or its fragment; and a method of producing an anti-HIV antibody or its fragment characterized by comprising immunizing a GANP transgenic nonhuman mammal or its offspring with a polypeptide comprising the amino acid sequence represented by SEQ ID NO:6 as an antigen and harvesting the antibody from the thus obtained animal or its offspring.

(57) 要約: 本発明の目的は、高親和性抗HIV抗体を提供することである。本発明によれば、HIVのgp120糖タンパク 本発明の目的は、高親和性抗HIV抗体を提供することである。本発明によれば、HIVのgp120糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数がKD=1.0×10°(M)以下の抗体又はその断片、前記抗体又はその断片を含有する医薬組成物、GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列からなるポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗HIV抗体又はその断片の製造方法が提供される。



明細書

抗 HIV 抗体

技術分野

5 本発明は、HIVの外皮膜に存在し分子量約 120kD を有する糖タンパク質 gp120 に高親和性に結合する抗体及びその産生細胞に関する。また、本発明は、上記抗体を含有する医薬組成物に関する。

背景技術

15

20

10 後天性免疫不全症候群(AIDS)は、HIV(Human Immunodeficiency Virus)の感染後、徐々に感染者の免疫能が低下して合併症を起こすようになった状態を意味する。

HIV は宿主の体内に侵入すると、CD4 陽性細胞、特に CD4+T リンパ球(ヘルパーT細胞)に感染する。CD4 陽性細胞への感染に関与するタンパク質は、HIV の外被糖タンパク質 gp120 である。gp120 は、HIV の外皮膜に存在し、分子量約120 キロダルトン(kD)を有する糖タンパク質であり、細胞表面の CD4 を特異的受容体として結合する。そして、HIV は CD4+リンパ球に感染後、細胞内に侵入し、脱外被を起こして核酸(RNA)を遊離する。その後、逆転写酵素による DNA合成、転写、翻訳がなされ、ウイルスタンパク質が合成される。ウイルスタンパク質は細胞膜に移動してウイルス粒子となり放出される。

HIV は抗原変異が激しいため、ワクチンを作製することが困難であり、現在有効なワクチンは開発されていない。また、HIV 遺伝子は感染細胞内の染色体に組み込まれるため、感染した HIV を完全に取り除くという根本的治療は極めて困難である。

25 現在、AIDS の発病を遅らせ、延命効果が認められる薬剤として AZT (アジトチミジン) などがあり、有効性が期待できる治療薬も次々と開発されつつある。 しかしながら、まだ決定的な治療薬は確立していない。

一方、HIV を効果的に中和する能力を持ち、AIDS の予防や診断に役立つ抗体を得るために種々の試みがなされている。gp120 は HIV の感染にとって最も重要な分子の一つであるため(McDougal et al., Science, 231,382-385 (1986))、HIV の感染の効果的な抑制、感染予防及び診断には、gp120 を標的とすることができる。これまでに、HIV の gp120 の前駆体である gp160 のアミノ酸配列のうち、第 308-331 番目以内にある一つのエピトープを認識する「 $0.5\,\beta$ 」と呼ばれる抗体が作製されている(特許第 2797099 号公報)。しかし、抗原との結合力をさらに高めるには、HIV の gp120 と反応して、効果的にウイルスを中和することができる高親和性抗体を開発することが必要である。

10

発明の開示

本発明は、HIV を中和する能力を有する高親和性抗体、及び該抗体を含む医薬組成物を提供することを目的とする。また、後天性免疫不全症候群の治療に用いられる医薬組成物を提供することを目的とする。

15 本発明者は、上記課題を解決するために誠意研究を行った結果、GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物を用いてgp120により免疫すると、HIVの活性を中和し、かつHIVと高親和性に結合する抗体を産生することを見出し、本発明を完成するに至った。

すなわち、本発明は以下の通りである。

20 (1) HIV の gp120 糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数が KD= 1.0×10^{-9} (M)以下の抗体又はその断片。

上記抗体又はその断片は、gp120糖タンパク質のうち第308-330番目のアミノ酸配列(例えば配列番号6に示されるもの)の少なくとも一部を認識することができる。

25 本発明の抗体又はその断片は、非ヒト哺乳動物からの血清から採取する抗体、 ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であってもよい。

本発明の抗体又はその断片は、例えば受託番号が FERM BP-08644 であるハイ

ブリドーマ細胞〔表示名:「Anti-NL43mono. Clone No.G2-25 ハイブリドーマ細胞」、寄託先:独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター(日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6(郵便番号305-8566))、寄託日:2004年2月25日〕により産生される。

- 5 (2) 上記抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又は それらの断片。
 - (3) 配列番号 6 に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫から採取される、高親和性抗体産生細胞。
- 10 また本発明は、受託番号が FERM BP-08644 である、HIV の gp120 糖タンパク質に対するモノクローナル抗体産生細胞を提供する。
 - (4) GANP トランスジェニック非ヒト動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。

15

- (5) 上記(3)記載の高親和性抗体産生細胞とミエローマ細胞との融合細胞、又は受託番号が FERM BP・08644 で表されるモノクローナル抗体産生細胞を培養し、得られる培養物から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
- 20 (6) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

本発明の医薬組成物は、後天性免疫不全症候群の治療薬として使用することが可能である。

25 (7) 上記(1)記載の抗体若しくはその断片、又は上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体若しくはそれらの断片と、HIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とするHIVの検出方法。

(8) 上記(1)記載の抗体又はその断片、及び上記(2)記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する HIV 検出用キット。

5 図面の簡単な説明

図1は、B細胞における GANP の発現の増加を示す図である。

図 2 は、ELISA を用いて各抗体による gp120(308-330)ペプチドを検出した結果を示す図である。

図3は、各クローンの解離定数を測定した結果を示す図である。

10 図4は、各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープに対する結合能を評価した結果を示す図である。

図5は、各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープに対する結合能を評価した結果を示す図である。

図6は、各抗 HIV モノクローナル抗体の中和活性試験結果を示す図である。

図7は、各抗 HIV モノクローナル抗体の中和活性試験結果を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

1. 概要

15

本発明の抗体は、GANPトランスジェニック哺乳動物に、HIVのgp120の一20 部、特にgp120のアミノ酸配列のうち第 308-330のアミノ酸配列からなるペプチドを抗原として免疫することにより得られたものである。gp120のアミノ酸配列のうち第 308-330番目の配列(「gp120(308-330)」という)を認識する抗体は、ウイルス中和活性、及び感染細胞による合胞体形成抑制活性を有することが知られているが(Skinner MA. et al., AIDS Res. Hum. Retroviruses (1988), 4(3), 187-197)、本発明の抗体は、gp120(308-330)と高親和性に結合することを特徴とするものである。

ここで、GANP とは、胚中心結合核タンパク質(Germinal center-associated

nuclear protein)と呼ばれている核タンパク質である。GANP は、遺伝子に変異を誘導するプロセスにおいて直接的及び間接的に必要な分子である。また、GANP は、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるように V 領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、GANP をコードする遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物(「GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物」という)は、この GANP 遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、この GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック非ヒト哺乳動物を、HIVの gp120のアミノ酸配列のペプチド(例えば gp120(308-330))を抗原に用いて免疫することで、従来は得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることができる。

上述の通り、本発明により、HIV中和活性、感染細胞の合胞体形成抑制作用を有し、従来は得られないような高親和性の抗 HIV 抗体を得ることができる。そして、得られた抗体を含む医薬組成物は、AIDS の治療に用いることができる。

15 上記抗体を産生する細胞は、gp120 で免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物から得られた脾臓 B 細胞又はリンパ節細胞単独でもよく、B 細胞又はリンパ細胞とミエローマ細胞とを融合させたハイブリドーマ細胞でもよい。本発明は、上記抗体を産生する細胞についても提供する。

さらに、HIV 感染を確認する臨床検査においては、HIV を高感度に検出するこ 20 とが重要である。その検出手段として、本発明の高親和性抗 HIV 抗体を用いることができる。従って、本発明は、抗 HIV 抗体を含む HIV 検出キットを提供するものである。

2. 抗原の調製

10

25 HIV の gp120 はデータベース等から配列情報を得ることが可能であり(PRF 1102247A, http://www.genome.ad.jp/dbget-bin/www_bget?prf:1102247A)、そのアミノ酸配列は配列番号 5 に示されるものである。

そして、gp120(308-330)のポリペプチド配列は、

10

15

20

25

NNTRKSIRIQRGPGRAFVTIGKI (配列番号6)

で表される 23 アミノ酸残基であり(Lee Ratner et al., Nature 313, 277-284, 1985)、このアミノ酸配列のうちの少なくとも一部(全部又は一部)を含むポリペプチド又はペプチド(単にペプチドともいう) 抗原として使用することができる。

ここで、抗原に用いる上記配列番号6で示されるペプチド配列の「アミノ酸配列の少なくとも一部」とは、長さに特に限定されるものではない。例えば23アミノ酸残基のうち連続する8アミノ酸残基以上、例えば8、10、12、16、20、23アミノ酸残基が挙げられる。また、選択する場所は、配列番号6の中の連続したアミノ酸であれば特に限定されず、任意の場所を選択することができる。例えば、7~8アミノ酸残基を抗原に用いる場合には、配列番号6で示される23残基のアミノ酸配列を、N末端から順に7~8アミノ酸ずつ3つの領域に渡ってアミノ酸配列を選択してもよく、N末端から1アミノ酸ずつC末端側にずらした領域の配列を選択してもよい。

抗原には、配列番号6及び上記のアミノ酸配列の少なくとも一部を、単独又は 混合して用いることができる。

また、上記ペプチドをキャリアタンパク質と結合させ、該ペプチドを側鎖として多数持つように抗原を作製してもよい。この場合は、上記ペプチドのN末端に、キャリアタンパク質を結合させるためのシステイン残基を付加することができる。

ペプチドの作製方法は、化学合成でも、大腸菌などを用いる生化学的合成でも よく、これらは当業者に周知の方法を用いることができる。

本発明のペプチドの化学合成を行う場合は、ペプチドの合成の周知方法によって合成することができる。例えば、アジド法、酸クロライド法、酸無水物法、混合酸無水物法、DCC 法、活性エステル法、カルボイミダゾール法、酸化還元法等が挙げられる。また、その合成は、固相合成法及び液相合成法のいずれをも適用することができる。市販のペプチド合成装置(島津製作所製 PSSM-8 など)を

使用してもよい。

20

25

反応後は、溶媒抽出、蒸留、カラムクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー、再結晶などの通常の精製法を組み合わせて本発明のペプチドを精製することができる。

本発明のペプチドの生化学的合成を行う場合は、まず、該ペプチドをコードする DNA を設計し合成する。そして、上記 DNA を適当なベクターに連結することによってタンパク質発現用組換えベクターを得、該組換えベクターを目的遺伝子が発現し得るように宿主中に導入することによって形質転換体を得ることができる (Sambrook J and Russel D. Molecular Cloning, A Laboratory Manual, 3rd edition, CSHL Press, 2001)。

ベクターには、宿主微生物で自律的に増殖し得るファージ又はプラスミドが使用される。プラスミド DNA としては、大腸菌、枯草菌又は酵母由来のプラスミドなどが挙げられ、ファージ DNA としては入ファージが挙げられる。さらに、動物ウイルス、昆虫ウイルスベクターを用いることもできる。

15 組換えベクターの作製は、精製された DNA を適当な制限酵素で切断し、適当 なベクター DNA の制限酵素部位等に挿入してベクターに連結すればよい。

形質転換に使用する宿主としては、目的の遺伝子を発現できるものであれば特に限定されるものではない。例えば、細菌(大腸菌、枯草菌等)、酵母、動物細胞(COS細胞、CHO細胞等)、昆虫細胞又は昆虫が挙げられる。ヤギ等の哺乳動物を宿主として使用することも可能である。

宿主への組換えベクターの導入方法は公知であり、任意の方法(例えばカルシウムイオンを用いる方法、エレクトロポレーション法、スフェロプラスト法、酢酸リチウム法、リン酸カルシウム法、リポフェクション法等)が挙げられる。

本発明において、本発明のペプチドは、前記形質転換体を培養し、その培養物から採取することにより得ることができる。「培養物」とは、(a)培養上清、(b)培養細胞若しくは培養菌体又はその破砕物のいずれをも意味するものである。

培養法は、当分野において周知である(前記 Sambrook ら、Molecular Cloning

を参照)。

培養後、目的ペプチドが菌体内又は細胞内に生産される場合には、菌体又は細胞を破砕することによりペプチドを抽出する。また、目的ペプチドが菌体外又は細胞外に生産される場合には、培養液をそのまま使用するか、遠心分離等により菌体又は細胞を除去する。その後、ペプチドの単離精製に用いられる一般的な生化学的方法、例えば硫酸アンモニウム沈殿、ゲル濾過、イオン交換クロマトグラフィー、アフィニティークロマトグラフィー等を単独で又は適宜組み合わせて用いることにより、目的のペプチドを単離精製することができる。

本発明においては、in vitro 翻訳によるペプチド合成を採用することもできる。

2 の場合は、RNA を鋳型にする方法と DNA を鋳型にする方法(転写/翻訳)の

2 通りの方法を用いることができる。例えば、鋳型 DNA としては、翻訳開始点の上流にプロモーターとリボゾーム結合部位を有している該ペプチドをコードする DNA、あるいは翻訳開始点の上流に転写に必要なプロモーター等が組み込まれた DNA が挙げられる。in vitro 翻訳システムは、市販のシステム、例えば

ExpresswayTMシステム(Invitrogen 社)、PURESYSTEM(登録商標;ポストゲノム研究所)、TNTシステム(登録商標;Promega 社)などを用いることができる。in vitro 翻訳システムによるペプチド合成後は、上記の一般的な生化学的方法を単独又は組み合わせることにより、目的のペプチドを単離精製することができる。

20 上記のように得られたペプチドに結合させるキャリアタンパク質としては、牛血清アルブミン(BSA)、keyhole limpet hemocyanin(KLH)、human thyroglobulin, ニワトリガンマグロブリンを挙げることができる。

3. GANP

25 GANP は、酵母 Sac3 タンパク質とホモロジーを有する 210kD の核タンパク質 である (WO00/50611 号公報)。そして、SAC3 はアクチン形成の抑制物質とし て特徴づけられている。また、GANP は、濾胞樹状細胞(follicular dendritic cells:

FDC)により囲まれる胚中心(germinal center, GC)B 細胞において選択的にアップレギュレートされ、リン酸化依存性 RNA プライマーゼ活性を有し、B 細胞の細胞周期調節に関与しているタンパク質である (Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321-2328)。

- 5 本発明においては、GANP タンパク質のアミノ酸配列を、マウスについて配列番号 2 に、ヒトについて配列番号 4 に示す。また、GANP タンパク質をコードする遺伝子(GANP 遺伝子という)の塩基配列を、マウスについて配列番号 1 に、ヒトについて配列番号 3 に示す。なお、上記アミノ酸配列及び塩基配列は、国際公開 WO00/50611 号公報にも記載されている。
- 10 また GANP タンパク質は変異体でもよく、配列番号 2 又は 4 に記載のアミノ酸配列において 1 又は複数のアミノ酸が欠失、置換又は付加されたアミノ酸配列であって RNA プライマーゼ活性を有するタンパク質であってもよい。例えば、配列番号 2 又は 4 に示すアミノ酸配列のうち 1 若しくは複数個(好ましくは 1 個又は数個(例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))のアミノ酸が欠 5 失しており、1 若しくは複数個(好ましくは 1 個又は数個(例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))のアミノ酸が他のアミノ酸で置換されており、及び/又は 1 若しくは複数個(好ましくは 1 個又は数個(例えば 1 個~10 個、さらに好ましくは 1 個~5 個))の他のアミノ酸が付加されたアミノ酸配列からなり、かつ上記 GANP タンパク質と同様の RNA プライマーゼ活性を有する GANP 変異型タンパク質を使用することもできる。

「RNA プライマーゼ活性」とは、RNA 複製において、 $5'\rightarrow 3'$ 方向に進む鎖の伸長とは逆向きの鎖(ラギング鎖)を合成する際に、伸長の開始点となる短いプライマーの RNA を合成する酵素活性を意味する。通常は α プライマーゼと呼ばれる DNA ポリメラーゼ α と結合する分子が用いられるが、胚中心 B 細胞では第二のプライマーゼである GANP プライマーゼも誘導されている。

GANP タンパク質は、上記配列番号2若しくは4に示すアミノ酸配列又はこれらの変異型アミノ酸配列のほか、N末端側の一部の配列(例えば配列番号2に示

9

すアミノ酸配列の $1\sim600$ 番、好ましくは $139\sim566$ 番)又はこれらの変異型アミノ酸配列を有するものも含まれる。

本発明において、動物に導入するための GANP 遺伝子は、上記 GANP タンパク質、N 末側の一部の配列、又は変異型タンパク質をコードする遺伝子が挙げられる。そのような遺伝子として、例えば配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列を有するものを使用することができる。配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列のうち、コード領域のみの塩基配列であってもよい。また、上記配列番号 1 又は 3 に示す塩基配列に相補的な配列と、ストリンジェントな条件下でハイブリダイズし、かつ、RNA プライマーゼ活性を有するタンパク質をコードする遺伝子を使用することも可能である。

「ストリンジェントな条件」とは、ハイブリダイズさせた後の洗浄時の条件であって塩(ナトリウム)濃度が $150 \sim 900 \text{mM}$ であり、温度が $55 \sim 75 \text{C}$ 、好ましくは塩(ナトリウム) 濃度が $250 \sim 450 \text{ mM}$ であり、温度が 68 Cでの条件をいう。

10

15

25

遺伝子に変異を導入するには、Kunkel 法や Gapped duplex 法等の公知手法により、例えば部位特異的突然変異誘発法を利用した変異導入用キット、例えばGeneTailorTM Site-Directed Mutagenesis System(インビトロジェン社製)、TaKaRa Site-Directed Mutagenesis System(Mutan-K、Mutan-Super Express Km 等:タカラバイオ社製)を用いて行うことができる。

変異遺伝子の詳細並びに取得方法は国際公開 WO00/50611 号公報にも記載さ 20 れている。

なお、抗 μ 抗体及び抗 CD-40 モノクローナル抗体で B 細胞を in vitro 刺激すると、GANP 発現のアップレギュレーションのみならず、GANP タンパク質のアミノ酸配列のうち特定のセリン残基(例えば 502 番目のセリン: S502)のリン酸化を引き起こす。この反応は、GANP の RNA プライマーゼ活性についてキーとなる反応である(Kuwahara, K. et al. (2001) Proc. Natl. Acad. Sci. USA, 98, 10279-10283)。GANP タンパク質の N 末端側の RNA プライマーゼドメインはセリン残基を含んでおり、そのリン酸化は in vitro において Cdk2 によって触媒さ

れる。C 末端側ドメインにより、GANP は MCM3 複製ライセンシング因子に結合する(Kuwahara, K. et al., (2000) Blood 95, 2321·2328; Abe, E. et al. (2000) Gene 255, 219·227)。

なお、GANP 遺伝子欠損マウスは胎生致死であるが、CD19-Cre マウスと flox-ganp 遺伝子のマウスを交配して作製した B 細胞に選択的に GANP 遺伝子を 欠損した conditional targeting マウスを作製して、T 細胞依存性抗原である nitrophenyl (NP)-ニワトリガンマグロブリン抗原で免疫して NP-ハプテン特異 的な抗体産生を調べたところ、高親和性抗体産生が著しく障害されており、GANP 分子が抗体の親和性亢進に重要な機能をしていることが明らかになった。

10

20

25

4. GANP 遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物

gp120 による免疫の対象となる動物は、GANP 遺伝子を導入したトランスジェニック非ヒト哺乳動物であり、当該トランスジェニック非ヒト哺乳動物は、好ましくは、導入した GANP 遺伝子を B 細胞で発現することができる。

15 (1) GANP 遺伝子とその関連分子

GANP遺伝子とその関連分子で形成される複合体は、遺伝子に変異を誘導するプロセスで直接および間接的に必要な分子である。GANPタンパク質は、遺伝子変異を修復する際に、高親和性の抗体が得られるようにV領域の変異の誘導を促す能力を保有していることから、本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、このGANP遺伝子又はその変異遺伝子の導入によって、獲得性免疫の高親和性抗体産生を促進することができる。また、この遺伝子を過剰に発現するトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、速やかに抗原に対する結合力の高い抗体を産生することができる。従って、上記トランスジェニック非ヒト哺乳動物を所定の抗原で免疫することで、従来では得られないような高親和性の抗体を簡便に得ることができる。その結果、難治性の病原微生物や異物を排除できるポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体を得ることができる。また、本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物を用いてヒト型化抗体を作製することによって、あるいは、本

発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物が産生する抗体のV領域を含む一本鎖 抗体を作製することによって、抗体療法の効力を飛躍的に高めることが可能とな る。

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、GANP 又はその変異遺伝子の 5 導入によって、B細胞で高親和性抗体の産生を促進することができ、前記高親和 性抗体産生細胞はアポトーシスを誘導するシグナルに対して抵抗性を有する。

(2) GANP 遺伝子導入用哺乳動物

15

20

25

本発明における「哺乳動物」とは、ウシ、ウマ、ブタ、ヤギ、ウサギ、イヌ、
10 ネコ、マウス、ラット、ハムスター及びモルモット等の任意の非ヒト哺乳動物を
意味し、好ましくはマウス、ウサギ、ラットまたはハムスターであり、特に好ま
しくはマウスである。

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、未受精卵、受精卵、精子およびその始原細胞を含む胚芽細胞などに対して、好ましくは、非ヒト哺乳動物の発生における胚発生の段階(さらに好ましくは、単細胞または受精卵細胞の段階でかつ一般に8細胞期以前)の細胞に対して、リン酸カルシウム法、電気パルス法、リポフェクション法、凝集法、マイクロインジェクション法、パーティクルガン法、DEAE・デキストラン法などにより、GANP遺伝子を導入することにより作製することができる。また、上記遺伝子導入方法により、体細胞、生体の臓器、組織細胞などに目的とするGANP遺伝子を転移させ、細胞培養、組織培養などに利用することもできる。さらに、これら細胞を上述の胚芽細胞と公知の細胞融合法により融合させることにより、トランスジェニック非ヒト哺乳動物を作製することもできる。

GANP 遺伝子を対象動物に導入させる際、当該遺伝子を対象となる動物の細胞で発現させうるプロモーターの下流に連結した遺伝子構築物として導入することが好ましい。具体的には、目的とする GANP 遺伝子を有する各種哺乳動物由来のGANP 遺伝子を発現させうる各種プロモーターの下流に、GANP 遺伝子を連結し

たベクターを、対象となる哺乳動物の受精卵(例えば、マウス受精卵)にマイクロインジェクションすることによって、目的とする GANP 遺伝子を高発現するトランスジェニック非ヒト哺乳動物を作製することができる。

5 (3) 発現ベクター

GANP 遺伝子の発現ベクターとしては、大腸菌由来のプラスミド、枯草菌由来のプラスミド、酵母由来のプラスミド、λ ファージなどのバクテリオファージ、モロニー白血病ウイルスなどのレトロウイ ルス、ワクシニアウイルス又はバキュロウイルスなどの動物又は昆虫ウイルスな どが用いられる。

10 遺伝子発現の調節を行うプロモーターと しては、たとえばウイルス由来遺伝子のプロモーター、各種哺乳動物(ヒト、ウ サギ、イヌ、ネコ、モルモット、ハムスター、ラット、マウスなど)および鳥類 (ニワトリなど) 由来遺伝子のプロモーターなどを使用することが可能である。

ウイルス由来遺伝子のプロモーターとしては、例えばサイトメガロウイルス、 15 モロニー白血病ウイルス、JC ウイルス、乳癌ウイルス等由来遺伝子のプロモーターが挙げられる。

各種哺乳動物及び鳥類由来遺伝子のプロモーターとしては、例えば、アルブミン、インスリン II、エリスロポエチン、エンドセリン、オステオカルシン、筋クレアチンキナーゼ、血小板由来成長因子 β 、ケラチン K1,K10 および K14、コラ - ゲン I 型および II 型、心房ナトリウム利 尿性因子、ドーパミン β -水酸化酵素、内皮レセプターチロシンキナーゼ、ナトリ ウムカリウムアデノシン 3 リン酸化酵素、ニューロフィラメント軽鎖、メタロチオネイン I 及び IIA、メタロプロティナーゼ1 組織インヒビター、MHC クラス I 抗原、平滑筋 α アクチン、ポリペプチド鎖延長因子 1α (EF- 1α)、 β アクチン、 α 及び β ミオシン重鎖、ミオシン軽鎖 1 及び 2、ミエリン基礎タンパク、血清アミロイド 2 コンポーネント、ミオグロビン、レニンなどの遺伝子のプロモーターが挙げられる。

上記ベクターは、トランスジェニック非 ヒト哺乳動物において目的とするメッ

センジャーRNA の転写を終結するターミネターを有していてもよい。その他、GANP 遺伝子をさらに高発現させる目的で、各遺伝子のスプライシングシグナル、エンハンサー領域、真核生物遺伝子のイントロンの一部をプロモーター領域の5°上流、プロモーター領域と翻訳領域間、あるいは翻訳領域の3°下流に連結することも所望により可能である。

本発明の好ましい態様では、免疫グロブリンプロモーターの下流に GANP 遺伝子を連結することにより、あるいはヒト免疫グロブリン遺伝子イントロンエンハンサー部分を GANP 遺伝子の 5'側に連結することにより、GANP 遺伝子を B 細胞で選択的に発現させることができる。

10

15

20

25

5

(4) GANP 遺伝子の導入

受精卵細胞段階における GANP 遺伝子の導入は、例えば対象の哺乳動物の胚芽細胞および体細胞の全てに過剰に存在するように確保することが好ましい。遺伝子導入後の作出動物の胚芽細胞において GANP 遺伝子が過剰に存在することは、作出動物の子孫が全てその胚芽細胞および体細胞の全てに GANP 遺伝子を過剰に有することを意味する。そして、遺伝子を受け継いだこの種の動物の子孫は、その胚芽細胞および体細胞の全てに GANP 蛋白質を過剰に有する。

本発明においては、導入遺伝子を相同染色体の一方に持つヘテロ接合体を取得し、ヘテロ接合体同士を交配することで導入遺伝子を相同染色体の両方に持つホモ接合体を取得し、この雌雄の動物を交配することによりすべての子孫が導入された GANP 遺伝子を安定に保持する。そして、GANP 遺伝子を過剰に有することを確認して、通常の飼育環境で繁殖継代することができる。

トランスジェニック対象動物が有する内在性の遺伝子とは異なる遺伝子である 外来性 GANP 遺伝子を対象非ヒト哺乳動物(好ましくはマウスなど)、又はその 先祖の受精卵(バッククロス)に転移する際に用いられる受精卵は、同種の雄哺 乳動物と雌哺乳動物を交配させることによって得られる。

受精卵は自然交配によっても得られるが、雌哺乳動物の性周期を人工的に調節

した後、雄哺乳動物と交配させる方法が好ましい。雌哺乳動物の性周期を人工的に調節する方法としては、例えば、初めに卵胞刺激ホルモン(妊馬血清性性腺刺激ホルモン(PMSG))、次いで黄体形成ホルモン(ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG))を、例えば腹腔注射などにより投与する方法が好ましい。

5 得られた受精卵に、前述の方法により外来性 GANP 遺伝子を導入した後、雌哺乳動物に人工的に移植・着床することにより、外来性遺伝子を組み込んだ DNA を有する非ヒト哺乳動物が得られる。雌哺乳動物に黄体形成ホルモン放出ホルモン(LHRH)を投与後、雄哺乳動物と交配させることにより受精能を誘起された偽妊娠雌哺乳動物に、受精卵を人工的に移植・着床させる方法が好ましい。遺伝子 を導入する全能性細胞としては、マウスの場合、受精卵や初期胚を用いることができる。また培養細胞への遺伝子導入法としては、トランスジェニック非ヒト哺乳動物個体の産出効率や次代への導入遺伝子の伝達効率を考慮した場合、DNA のマイクロインジェクションが好ましい。

遺伝子を注入した受精卵は、次に仮親の卵管に移植され、個体まで発生し出生した動物を里親につけて飼育させたのち、体の一部(マウスの場合には、例えば、尾部先端)から DNA を抽出し、サザン解析や PCR 法により導入遺伝子の存在を確認することができる。導入遺伝子の存在が確認された個体を初代(Founder)とすれば、導入遺伝子はその子(F1)の 50%に伝達される。さらに、この F1 個体を野生型動物または他の F1 動物と交配させることにより、2 倍体染色体の片方(ヘテロ接合)または両方(ホモ接合)に導入遺伝子を有する個体(F2)を作製することができる。

15

20

25

あるいは、GANP 蛋白質高発現トランスジェニック非ヒト哺乳動物は、上記した GANP 遺伝子を ES 細胞 (embryonic stem cell) に導入することによって作製することもできる。例えば、正常マウス胚盤胞 (blastocyst) に由来する HPRT 陰性 (ヒポキサンチングアニン・フォスフォリボシルトランスフェラーゼ遺伝子を欠いている) ES 細胞に、GANP 遺伝子を導入する。当該 GANP 遺伝子がマウス内在性遺伝子上に相同組み換えを起こさせ、インテグレートされた ES 細胞を

HAT セレクション法により選別する。次いで、選別した ES 細胞を、別の正常マウスから取得した受精卵(胚盤胞)にマイクロインジェクションする。得られた胚盤胞を、仮親としての別の正常マウスの子宮に移植する。その後、仮親マウスからキメラトランスジェニックマウスが生まれる。生まれたキメラトランスジェニックマウスを正常マウスと交配させることにより、ヘテロトランスジェニックマウスを得ることができる。そして、ヘテロトランスジェニックマウスが得ることにより、ホモトランスジェニックマウスが得られる。

本発明においては、上記したトランスジェニック非ヒト哺乳動物に限らず、その子孫、並びにトランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫の一部も本発明の範囲内である。トランスジェニック非ヒト哺乳動物の一部としては、当該トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫の組織、器官及び細胞などが挙げられ、器官または組織としては、脾臓、胸腺、リンパ節、骨髄あるいは扁桃腺などが挙げられ、細胞としては B 細胞などが挙げられる。

10

20

25

本発明のトランスジェニック非ヒト哺乳動物は、B細胞をさらに活性化する哺 15 乳動物と交配することも可能であり、これによりさらに高親和性抗体を産生する ことが可能である。

最近、MRL/lprマウスでB細胞が末梢のリンパ節での活性化の際に胚中心を経過した後、T細胞領域でさらにV領域の突然変異誘導が亢進していることが報告されている。また、本発明者らもMRL/lprマウスにおいてGANP遺伝子がIgプロモーター、エンハンサーの下流に結合して作製したganpトランスジェニックマウスに見られるのと同等の高い発現が、非免疫の状態で見られることを見出している。このことは、正常では自己の抗原に対しては高親和性の抗体はできないのに対して、この自己免疫疾患マウスでは、GANP分子の異常な活性化が起こるために、自己の抗原に対しての高親和性抗体が産生されることとなる可能性が示唆される。

そこで、上記 B 細胞をさらに活性化する動物として、自己免疫疾患マウスであるとされる MRL/lpr, NZB, $(NZB \times NZW)$ F1 などを用いれば、さらに高い変異誘

導を期待できる。

以上のことを利用した MLR/lpr マウスの GANP トランスジェニックマウスを作製することによって、スーパー高親和性抗体産生マウスを作出できる可能性がある。すなわち、本発明の GANP 遺伝子過剰発現トランスジェニック非ヒト哺乳動物とさまざまな自己免疫疾患モデル動物との交配により、高親和性抗体を産生できる哺乳動物を作製することができる。

5. HIV gp120 に対する高親和性抗体の作製

(1) 高親和性抗体

本発明において「抗体」とは、抗原である gp120 のアミノ酸配列第 308-330 番目のペプチドに結合し得る抗体分子全体(ポリクローナル抗体であってもモノクローナル抗体であっても良い)またはその断片を意味する。また、本発明の抗体のアイソタイプは特に限定されず、例えば、 $IgG(IgG_1, IgG_2, IgG_3, IgG_4)$ 、 $IgM, IgA(IgA_1, IgA_2), IgD$ 又はIgEである。

15 本発明では、抗原に対する反応性が高い抗体のことを高親和性抗体という。「高親和性」とは、抗体が抗原と結合する結合能が高いことを意味し、抗体の結合能が一般のマウスなどの動物を用いて作製した抗体と比較して高く、また逆に当該抗原から解離することが遅い抗体のことをいう。これはエピトープに対して、立体的に密接して結合する能力が高く特異的であることを意味すると共に、抗体が20 結合することによってエピトープのみならずその抗原の構造の変換をきたすことによって結果的に強力な活性、例えば毒素中和活性、HIVの感染性阻止、不活性化などの生物活性を示すことも包含している。

抗体の結合能(親和性)は、スキャッチャード解析や Biacore と呼ばれる表面 プラズモン共鳴センサーにより、解離定数(KD)、解離速度定数(Kdiss)、結合速度 25 定数(Kass)として測定することができる。Biacore 装置は、センサーチップ、マ イクロ流路系、SPR 検出系の3つの技術を統合して分子結合の強さ、速さ、選択 性を測定するというものであり、標識を使わずにリアルタイムで生体分子の検出

と複数個の分子間での相互作用のモニタリングを行うことができる。Biacore 装置としては、例えば Biacore 3000、Biacore 2000、Biacore X、Biacore J、Biacore Q (いずれも Biacore 社) などが挙げられる。

上記 Biacore によって、抗体の親和性を示すパラメーター、すなわち解離定数 (KD)、解離速度定数(Kdiss) [1/Sec] 及び結合速度定数(Kass) [1/M.Sec]を測定する。

抗体は、解離定数(KD 値)が小さい値であるほど親和性が高いという点で好ましい。抗体の結合能(親和性)は、Kdiss 及び Kass の2つのパラメーターにより決定され、

10 KD[M] = Kdiss/Kass

により表わされる。

15

25

抗原の種類等複数の要因によって、得られる抗体の親和性は異なるが、KD 値は 1×10^{-9} (M)以下であることが好ましく、 1.5×10^{-10} (M)以下であることがより好ましく、 1.0×10^{-10} (M)以下(特に 9.9×10^{-11} (M)以下)であることがさらに好ましい。

本発明においては、作製された抗体が上記いずれかの作用又は性質を発揮する抗体であるときに、高親和性であると判断される。

本発明の抗体(ポリクローナル抗体及びモノクローナル抗体及び活性フラグメント)は、種々の方法のいずれかによって製造することができる。このような抗20 体の製造法は当該分野で周知である。

(2) ポリクローナル抗体の作製

上記の通り作製した抗原を GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物に投与する。哺乳動物は特に限定されものではなく、 例えばラット、マウス、ウサギなどを挙げることができるが、 GANP トランスジェニックマウス、又は GANP トランスジェニックウサギが好ましい。

抗原の動物一匹あたりの投与量は、アジュバントを用いないときは、5~50

mgであり、アジュバントを用いるときは0.5~2 mgである。アジュバントとしては、フロイント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント、市販の免疫賦活薬等が挙げられる。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内等に注入することにより行われる。また、免疫の間隔は特に限定されず、数日から数週間間隔、好ましくは1~5週間間隔で、1~10回、好ましくは2~3回免疫を行う。そして、最終の免疫日から6~60日後に酵素免疫測定法(ELISA[enzyme·linked immunosorbent assay]又はEIA[enzyme immunoassay])、放射性免疫測定法(RIA[radioimmuno assay])等で抗体価を測定し、所望の抗体価を示した日に採血し、抗血清を得る。上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、イオン交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー等の公知の方法を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製することができる。

15 その後は、抗血清中のポリクローナル抗体の反応性を ELISA 法などで測定する。

(3) モノクローナル抗体の作製

(a)抗体産生細胞の採取

10

20 前記のように作製した抗原を、GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物、例えばラット、マウス、ウサギなどに投与する。抗原の動物一匹あたりの投与量はアジュバントを用いないときは、0.05~2mgであり、アジュバントを用いるときは0.05~2mgである。アジュバントとしては、フロイント完全アジュバント(FCA)、フロイント不完全アジュバント(FIA)、水酸化アルミニウムアジュバント、BCG、

25 トレハロースダイマイコレート(TDM)、リポ多糖(LPS)、シリカアジュバント等が挙げられるが、抗体の誘導能等の関係から、FCA と FIA とを組み合わせて使用することが好ましい。免疫は、主として静脈内、皮下、腹腔内に注入すること

により行われる。また、免疫動物は、抗原の初回免疫後、さらに、追加免疫を数回行い、適当な日数を経過した後に部分採血を行い、上記方法で抗体価を測定することが好ましい。本発明の方法で産生される抗体は高親和性抗体であるため、上記免疫は初回のみで十分である可能性がある。免疫の間隔は特に限定されず、

数日から数週間間隔、好ましくは 2~5 週間間隔で、1~10 回、好ましくは 1~5 回免疫を行う。そして、最終の免疫日から 1~60 日後、好ましくは 1~14 日後に 抗体産生細胞を採集する。抗体産生細胞としては、脾臓細胞、リンパ節細胞、末 梢血細胞などが挙げられるが、脾臓細胞、又は局所リンパ節細胞が好ましい。

上記のようにして得られる本発明の高親和性抗体産生細胞も本発明に含まれる。

10 (b) 細胞融合

15

20

25

例えば、GANPトランスジェニックマウスを用いた場合、ハイブリドーマを得るため、抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞融合を行う。抗体産生細胞と融合させるミエローマ細胞として、マウスなどの動物の一般に入手可能な株化細胞を使用することができる。使用する細胞株としては、薬剤選択性を有し、未融合の状態では HAT 選択培地(ヒポキサンチン、アミノプテリン、チミジンを含む)で生存できず、抗体産生細胞と融合した状態でのみ生存できる性質を有するものが好ましい。ミエローマ細胞としては、例えば、P3-X63.Ag8(X63)、P3-X63.Ag8.U1(P3U1)、P3/NS I/1-Ag4·1(NS1)、Sp2/0-Ag14(Sp2/0)等のマウスミエローマ細胞株を挙げることができる。ミエローマ細胞の選択に当たっては、抗体産生細胞との適合性を適宜考慮する。

次に、上記ミエローマ細胞と抗体産生細胞とを細胞融合させる。細胞融合は、血清を含まない DMEM、RPMI-1640 培地などの動物細胞用培地中で、1×106~1×107個/ml の抗体産生細胞と 2×105~2×106個/ml のミエローマ細胞とを混合し(抗体産生細胞とミエローマ細胞との細胞比 5 : 1 が好ましい)、細胞融合促進剤存在の下で融合反応を行う。細胞融合促進剤として、平均分子量 1000~6000 ダルトン(D)のポリエチレングリコールなどを使用することができる。また、電気刺激(例えばエレクトロポレーション)を利用した市販の細胞融合装置

を用いて、抗体産生細胞とミエローマ細胞とを融合させることもできる。

(c) ハイブリドーマの選別及びクローニング

細胞融合処理後の細胞から目的とするハイブリドーマを選別する。その方法として、細胞懸濁液を例えばウシ胎児血清含有 RPMI-1640 培地などに適当に希釈後、マイクロタイタープレート上にまき、各ウェルに選択培地を加え、以後適当に選択培地を交換して培養を行う。その結果、選択培地で培養開始後、14日前後から生育してくる細胞をハイブリドーマとして得ることができる。

次に、増殖してきたハイブリドーマの培養上清中に、gp120 に反応する抗体が存在するか否かをスクリーニングする。ハイブリドーマのスクリーニングは、通常の方法に従えばよく、特に限定されるものではない。例えば、ハイブリドーマとして生育したウェルに含まれる培養上清の一部を採集し、ELISA、EIA、RIAなどによってスクリーニングすることができる。

融合細胞のクローニングは、限界希釈法等により行う。gp120 に強い反応性を示す抗体であって、親和性を示す値が $KD=1\times 10^{-9}$ (M)以下である抗体を産生するハイブリドーマを選択し、樹立する。

(d) モノクローナル抗体の採取

10

15

20

25

樹立したハイブリドーマを培養し、得られる培養物からモノクローナル抗体を採取する方法として、通常の細胞培養法、又は腹水形成法等を採用することができる。「培養」とは、上記ハイブリドーマをシャーレやディッシュで生育すること、または上記ハイブリドーマを下記のように腹腔内で増殖することを意味する。また、「培養物」とは、培養上清、培養細胞若しくはその破砕物、又は腹水のいずれをも意味するものである。

細胞培養法においては、ハイブリドーマを 10%ウシ胎児血清含有 RPMI-1640 培地、MEM 培地又は無血清培地等の動物細胞培養培地中で、通常の培養条件(例 えば 37℃、5%CO₂濃度)で 7~14 日間培養し、その培養上清から抗体を取得する。

腹水形成法の場合は、ミエローマ細胞由来の哺乳動物と同種系動物の腹腔内に

ハイブリドーマを約 1×10^7 個投与し、ハイブリドーマを大量に増殖させる。そして、 $1 \sim 2$ 週間後に腹水を採集する。

上記抗体の採取方法において、抗体の精製が必要とされる場合は、硫安塩析法、イオン交換クロマトグラフィー、ゲル濾過、アフィニティークロマトグラフィー等の公知の方法を適宜選択して、又はこれらを組み合わせることにより精製することができる。

(e) モノクローナル抗体の結合領域の利用

10

15

20

25

モノクローナル抗体は HIV 抗原に結合することで感染阻止、および HIV ウイルスの中和、排除を行う活性を有するが、その際には H 鎖ではどの V 領域遺伝子を用いているか、どの D 領域の遺伝子、J 領域遺伝子を用いているか、さらに N 配列が挿入されているか、またどの L 鎖の V 領域遺伝子を用いているか、J 領域遺伝子を用いているかが高親和性抗体作製の基盤になる。しかし、結合親和性に関しては、これらに加えて、末梢のリンパ組織で誘導される V 領域遺伝子の体細胞突然変異の程度によって大きく変化する。ここではモノクローナル抗体の抗原結合に関わる領域、すなわち H 鎖と L 鎖のそれぞれ 3 つの CDR 領域の構造によって、体細胞突然変異の程度が決まる。したがって、本発明で得られる高親和性の結合領域の情報を用いれば、ヒトの EB ウイルスでトランスフォームした記憶 B 細胞株で抗 HIV 抗体産生細胞を樹立して、その V 領域にここで得られている情報を直接遺伝子操作技術で導入することによって高親和性抗体を得ることも可能である。

(4) 抗体断片、ヒト型化抗体又はヒト化抗体

上記の抗体の断片及び V 領域の一本鎖抗体も本発明の範囲内である、抗体の断片としては、前述したポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体の一部分の領域を意味し、具体的には $F(ab')_2$ 、Fab'、Fab、Fv(variable fragment of antibody)、<math>Fv(disulphide stabilized Fv)、あるいは Fv(disulphide stabilized Fv)、かるいは Fv(disulphide stabilized Fv)、かるいは Fv(disulphide stabilized Fv)、かるいは Fv(disulphide stabilized Fv)、かるいは Fv(disulphide stabilized Fv) を Fv(disulphide stabilized F

カーでつないだ構造を持つ。

本発明の高親和性抗体は、ヒト型化抗体やヒト抗体でも良い。これらの抗体は、 免疫系をヒトのものと入れ換えた哺乳動物を用いて、 該哺乳動物を免疫して、通 常のモノクローナル抗体と同様に直接ヒト抗体を作製することができる。

ヒト型化抗体を作製する場合は、マウス抗体の可変領域から相補性決定領域 (complementarity determining region; CDR)をヒト 可変領域に移植して、フレームワーク領域(FR)はヒト由来のものを、CDR はマウス由来のものからなる再構成した可変領域を作製する。

次にこれらのヒト型化された再構成ヒト可変領域をヒト定常領域に連結する。ヒト型化抗体の作製法は、当分野において周知である。

ヒト抗体は、一般に V 領域の抗原結合部位、すなわち超過変領域(Hyper Variable region)についてはその特異性と結合親和性が問題となるが、構造的に どの動物で作製してもかまわない。一方 V 領域のその他の部分や定常領域の構造 は、ヒトの抗体と同じ構造をしていることが望ましい。ヒトに共通の遺伝子配列 については遺伝子工学的手法によって作製する方法が確立されている。

(5)抗体の特性

5

10

15

本発明の GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物より産生される抗体は、以下の(i) \sim (iv)の少なくとも1つの性質を有する。

- (i) HIV の外被膜にある分子量 120kD の糖タンパク質抗原 gp120 と結合して、HIV を中和する。
 - (ii) HIV に感染された細胞の表面に結合することによって、感染された細胞と感染されない T 細胞により誘発される合胞体の形成を阻止する。
 - (iii) gp120(308-330) の領域の少なくとも一部のエピトープを認識する。
- 25 (iv) gp120(308-330) 領域の少なくとも一部に対し、高親和性(KD=1×10⁻⁹(M)以下)に結合する。

合胞体とは、感染細胞が非感染細胞を取り込んで一つの細胞になることをいう。

in vitro で HIV を細胞と培養すると、合胞体が形成されることがあり、このような合胞体は、生存できずに死滅する。HIV の中でも合胞体を作りやすい SI 型 HIV の感染者では、CD4+リンパ球の減少が早く、エイズへの進展が早く起こることが知られている。

5

10

15

6. 医薬組成物

本発明の高親和性抗体は、AIDS の病原である HIV を抗原として、その活性を中和させる作用を有するため、AIDS の治療又は予防用医薬組成物として有用である。本発明の医薬組成物は、本発明の高親和性抗体又はその断片を有効成分として含み、さらに薬学的に許容される担体を含む医薬組成物の形態で提供することが好ましい。

ここで「薬学的に許容され得る担体」とは、賦形剤、希釈剤、増量剤、崩壊剤、 安定剤、保存剤、緩衝剤、乳化剤、芳香剤、着色剤、甘味剤、粘稠剤、矯味剤、 溶解補助剤あるいはその他の添加剤等が挙げられる。そのような担体の一つ以上 を用いることにより、注射剤、液剤、カプセル剤、懸濁剤、乳剤あるいはシロッ プ剤等の形態の医薬組成物を調製することができる。これらの医薬組成物は、経 口あるいは非経口的に投与することができる。非経口投与のためのその他の形態 としては、一つまたはそれ以上の活性物質を含み、常法により処方される注射剤 などが含まれる。

20 本発明の薬剤の投与量は、患者の年齢、性別、体重及び症状、治療効果、投与方法、処理時間、あるいは該薬剤に含有される活性成分である高親和性抗体の種類などにより異なるが、通常成人一人当たり、一回につき $10 \mu g$ から 1000 m g、好ましくは $10 \mu g$ から 100 m g の範囲で投与することができるが、この範囲に限定されるものではない。体液量は、体重を 60 k gとすると 5 l u v トルと産出で 25 きる。抗体の有効な濃度は in vitro の実験では $5 \sim 50 \mu g/m l$ である場合が多く、単純に計算すると $25 \sim 250 m g$ の抗体が少なくとも数日間体内で存在することが望ましい。

例えば、注射剤の場合には、例えば生理食塩水あるいは市販の注射用蒸留水等の薬学的に許容される担体中に 0.1 μg 抗体/ml 担体~10mg 抗体/ml 担体の濃度となるように溶解または懸濁することにより製造することができる。このようにして製造された注射剤は、処置を必要とするヒト患者に対し、1回の投与において1kg体重あたり、1μg~100mgの割合で、好ましくは50μg~50mgの割合で、1日あたり1回~数回投与することができる。投与の形態としては、静脈内注射、皮下注射、皮内注射、筋肉内注射あるいは腹腔内注射などが挙げられるが、好ましくは静脈内注射である。また、注射剤は、場合により、非水性の希釈剤(例えばプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、オリーブ油のような植物油、エタノールのようなアルコール類など)、懸濁剤あるいは乳濁剤として調製することもできる。そのような注射剤の無菌化は、フィルターによる濾過滅菌、殺菌剤の配合等により行うことができる。注射剤は、用時調製の形態として製造することができる。即ち、凍結乾燥法などによって無菌の固体組成物とし、使用前に無菌の注射用蒸留水または他の溶媒に溶解して使用することができる。

15

20

25

10

7. HIV 検出キット

本発明の高親和性抗体は、疾患の診断、治療又は予防 のための薬剤として有用である。

本発明の抗体を用いた HIV 感染の検出は、被験者から採取した検体、例えば唾液や血液等と本発明の抗体又はその断片とを抗原抗体反応によって結合させ、結合した抗体量により検体中の目的とする抗原の量を測定することにより行う。抗体量の検出は、公知の免疫学的測定法に従って行えばよく、例えば、免疫沈降法、免疫凝集法、標識免疫測定法、免疫比懸濁法などを用いることができる。特に、標識免疫測定法が簡便且つ高感度という点で好ましい。標識免疫測定法では、検体中の抗体価は標識抗体を用いて直接検出した標識量で表すほか、既知濃度あるいは既知抗体価の抗体を標準液として相対的に表してもよい。すなわち、標準液と検体を測定計により測定し、標準液の値を基準にして検体中の抗体価を相対的

に表すことができる。標識免疫測定法としては、公知の測定法、例えば ELISA 法、EIA 法、RIA 法、蛍光免疫測定法(Fluoroimmunoassay: FIA)、化学発光免疫測定法(Luminescence immunoassay)などを任意に利用することができる。

また、本発明の高親和性抗体を利用することにより、AIDS 治療薬の薬効評価を高感度に行うことができる。本発明の高親和性抗体を利用した薬効評価方法は、AIDS 患者あるいはヒトリンパ細胞を移入して作製した AIDS モデル動物 (SCID-Huマウス)に対して薬剤を投与後、これら生体中の HIV あるいは各モデル動物に対する免疫不全ウイルスの量を本発明の抗体を用いて検出し、その量を比較することにより、生体中の抗原の量を通して AIDS 治療薬としての薬効を評価することができる。その際、従来の抗体に比べて 2 倍から 1 0 0 倍の感度を有することが期待できる。

本発明の高親和性抗体は、各種疾患診断用キットの形態で提供することができる。該キットは、本発明の診断方法や本発明の薬効評価方法に使用することができる。また、輸血製剤や、生体サンプルの HIV ウイルス感染有無のチェックをするための、高感度で、敏速で、簡便なキットとして使用できる。本発明のキットは以下の(a)及び(b)から選ばれる少なくとも一つ以上を含む。

(a)本発明の抗体又はその標識物

10

15

(b)前項(a)記載の抗体又はその標識物を固定した固相化試薬

ここで、抗体の標識物とは、酵素、放射性同位体、蛍光化合物、または化学発 20 光化合物によって標識されたものを意味する。

本発明のキットは、上記の構成要素の他、本発明の検出を実施するための他の 試薬、例えば標識物が酵素標識物の場合は、酵素基質(発色性基質等)、酵素基 質溶解液、酵素反応停止液、あるいは検体用希釈液等を含んでいても良い。

25 以下、実施例により本発明をさらに具体的に説明するが、本発明は実施例によって限定されるものではない。

本実施例は、通常免疫に用いられることの多い Balb/c マウス、野生型(WT)マウス及び GANP トランスジェニック(Tg)マウスの3種のマウスに、免疫抗原として HIV の中和活性が期待できる HIV24NL43(308-330)のペプチドをキャリアー蛋白に結合したものを免疫した。それぞれのマウスの中から各2匹を用いて細胞融合を行い、ELISA 法、Biacore による測定にてスクリーニングし、陽性ハイブリドーマを得た。さらに各ハイブリドーマから得られた精製抗体を用いて、ELISA 法および Biacore を用いた解析を実施した。

その結果、GANPトランスジェニック(Tg)マウスから得られたモノクローナル抗体(3クローン)は、かなりの高親和性モノクローナル抗体であり、親和性の指標となる解離定数は高いものでは KD (KD=k diss /k ass)= $9.90\times10^{-11}(M)$ であった。

実施例1:GANPトランスジェニック(Tg)マウスの作製

マウスへの導入用遺伝子は、pLG ベクターの EcoRI サイトに 5.3 kb のマウス GANP 遺伝子を挿入して作製した。このベクターはヒト免疫グロブリンイントロンエンハンサー領域(2 kb EcoRI フラグメント)を持ち、B 細胞での強力な発現を行う、特異的ベクターである。この遺伝子を直線化してマウスに遺伝子導入を行った。マウス GANP 全長 cDNA を含む線状化した pLG vector (Koike, M. et al. Int. Immunol. 7, 21-30 (1995))を C57BL/6 マウスの受精卵にマイクロインジェクションした。マウスの尾のゲノム DNA および以下のプライマー及び反応液を用いて導入遺伝子の存在についてスクリーニングした(図 1、上パネル)。図 1 上パネルにおいて、5.3kb 付近のバンドは GANP 遺伝子のものである。

1-5' プライマー:5'-TCCCGCCTTCCAGCT GTGAC-3'(配列番号7)

1-3'プライマー:5'-GTGCTGTGTTATGTCCT-3' (配列番号8)

25 反応液組成:

10

15

DNA (50 ng/μl)	1 μΙ
10x buffer	2.0 μΙ
2.5 mM dNTP mix	2.0 μΙ
1-5' primer (10μM)	0.8 μΙ
1-3' primer (10μM)	0.8 μΙ
Z-Taq DNA polymerase	0.1 μΙ
dH ₂ O	13. 3 μΙ

反応条件:

[98°C 5 sec; 59°C 5 sec; 72°C 10 sec] $\times 35$ サイクル

4℃

5

10

GANP mRNA の発現が亢進しているか否かは、RT-PCR で確認した。

全 RNA は、脾臓又は脾臓 B 細胞から Trizol(Invitrogen)を用いて抽出し、RT-PCR は、2 種のプライマー1-5'及び 1-3'を用いて行い、cDNA を合成した (Kuwahara, K. et al., Blood 95, 2321-2328 (2000))。 GANP 転写物はアガロースゲル電気泳動により検出した。 β -アクチン転写物は対照として用いた。

その結果、GANPトランスジェニックマウスは、B 細胞で GANP の発現の増加を示し(図1、下パネル)、骨髄、脾臓及びリンパ節の細胞の表層マーカー分析において、B 系細胞の通常の分化を示した。

15 実施例2:抗体の作製

- (1) 材料
- (a) 動物: Balb/c マウス、野生型 (WT) マウス と GANP トランスジェニック (Tg) マウス
 - (b)免疫抗原:HIV24NL43ペプチドKLHコンジュゲーション
- 20 (c) ELISA 抗原: HIV24NL43 ペプチド(配列: CNNTRKSIRI QRGPGRAFVT IGKI (配列番号 9))
 - (d)ミエローマ細胞: P3-X63.Ag8.U1

(e) 2 次抗体: HRP 標識抗マウス抗体 IgG・A・M

(2) 方法

10

25

上記3種のマウスの各5匹に、免疫抗原として NL43ペプチド (キャリアータンパク質: KLH) を、2週間おきに3回免疫し、3回免疫後採血抗血清を用いて 抗体価を ELISA 法にて測定した。

この中から、力価の高いマウス各 2 匹から抗体産生細胞(脾細胞)を採取し、 脾細胞と P3U1 ミエローマ細胞との細胞融合を実施した。GANP-Tg マウスの脾 細胞数が 0.2×10^5 /ウェルになるようにまきこみ、それぞれ、Balb/c マウス: 5448クローン、野生型 (WT) マウス: 1888 クローン、GANP トランスジェニック (Tg) マウス: 2016 クローンを HAT 培地にて培養した。

HAT 培養 9 日後の培養上清を用いて、NL43 ペプチド(1 マイクロ g/mL)を固相化抗原として ELISA 法を実施した。GANP-Tg マウスおよび WT の培養上清の母集団のそれぞれから、ELISA の結果にて 490nm 吸光度 1.50 以上のクローンを選出し、HT 培地にてクローニングを実施した。

HT 培養9日後の培養上清を用いて、NL43ペプチド(1マイクロg/mL)を固相化抗原として ELISA 法を実施した結果、Balb/c マウスは3クローン(クローン名:B1·10, B2·24, B2·27)、野生型(WT)マウスは9クローン(クローン名:W1·2, W1·7, W1·8, W1·10, W1·21, W1·43, W1·45, W1·63, W1·84)、GANPトランスジェニック(Tg)マウスは8クローン(クローン名:G1·22, G1·68, G1·124, G1·165, G1·181, G2·231, G2·10, G2·25)のハイブリドーマを樹立した。

このうち、G2-25 は「Anti-NL43mono. Clone No.G2-25 ハイブリドーマ細胞」と称し、独立行政法人産業技術総合研究所 特許生物寄託センター(日本国茨城県つくば市東1丁目1番地1 中央第6(郵便番号 305-8566))に、2004 年 2月 25 日付で FERM BP-08644 としてブダペスト条約に基づき国際寄託されている。

GANP-Tg マウス、WT のそれぞれのクローンを RPMI 培地にて培養し、さらに、無血清培地である SFM 培地にて培養し、Protein G 精製によって、抗ペプチ

ドモノクローナル精製抗体を作製した。

実施例3:親和性測定

上記実施例2で作製した各モノクローナル抗体を用いて、以下の評価検討を実 施した。 5

抗体の親和性を評価するにあたり、ELISA 法とBiacore による解析を実施した。 まず、ELISA 法は、HIV24NL43 ペプチド 1マイクロ g/mL をそれぞれ固相 化抗原として用い、室温にて1時間固相化した。PBSTween20洗浄後、2.0%skim milk にてブロッキングを実施した。さらに PBSTween20 洗浄後、評価する抗ペ プチドモノクローナル抗体 $(0.457\sim1\ \text{マイクロ g/mL})$ を用いて、室温にて1時 間反応させた。次に、サンプルを PBSTween20 洗浄後、HRP 標識抗マウス IgG・ $A \cdot M$ と室温にて 1 時間反応させた。さらに、PBSTween 20 洗浄し、オルトフェ ニレンジアミン(OPD)にて5分間発色させ、2 N 硫酸を用 いて反応を停止した。

吸光度は、ELISA PLATE READER を用いて、490nm にて測定した。

15 ELISA の結果を図 2 に示す。

10

GANP-Tg マウスを用いることにより、極めて高い結合能を有する3つの抗体 が作製された(図2、吸光度 $1.4\sim2.1$ 付近)。これらのモノクローナル抗体のク ローン名は、吸光度の高い順に G1-181、G2-10、G2-25 である。

次に、Biacore を用いて物理化学的結合能を調べた。

- Biacore による解析は、HIV24NL43 ペプチドをリガン ドとして Biacore セン 20 サーチップに結合させたものに、アナライト溶液として、 抗ペプチドモノクロー ナル抗体を用いて、それぞれの結合速度定数(kass)、解離速度定数(kdiss)、 そして親和性の指標となる解離定数 KD (KD = k diss / k ass)を算出した。 KD が 低い程、親和性は高いと評価される。
- 抗体の親和性の総合評価として、各クローンの解離定数と ELISA の結果を合 25 わせて、図3に示す。図3において、クローンと解離定数との関係は以下の通り である。

クローン	解離定数(M)	_
G1-181	1.09×10 ⁻⁸	_
G2-10	9.90×10^{-11}	
G2-25	1.51×10^{-10}	

抗体の結合親和性を検討するには Biacore による感度測定による方法が現在のところ最も有効であるが、この際の解離定数は単位時間当たりに結合する抗体の結合速度定数を結合した抗体の解離定数で割った数値として便宜的に算出される。抗体の活性はこのペプチドに対する親和性に加えて、抗体がどれだけ短時間で抗原に結合しうるかも重要な要素である。生体内でできるだけ速やかにウイルスと結合し、その結果ウイルス抗原の分子構造に変化を加えて、一層強固な結合状態に入ることも期待できる。G1-181 クローンは解離定数算出ではそれほど高いとはいえないものの、結合定数のプロファイルでは最も急速に多くの抗原分子と結合するという点で優れている。

10 通常、モノクローナル抗体作製のために用いる Balb/c マウスから得られた抗体は、解離定数 $KD=4.97\times10^{-6}\sim5.68\times10^{-9}$ (MI) で、低親和性でかつ少数の抗体しか得ることができず、陰性コントロールの野生型 (WT) マウスにおいても、解離定数 $KD=2.81\times10^{-5}\sim3.11\times10^{-9}$ (M) の範囲までしか得られず、限界があった。

15 これらに対して、GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいては、解離定数 $KD=9.90\times10^{-11}$ (M)という高親和性抗体(G2-10)を得ることができ、この親和性は、Balb/c マウスのクローンの 57 倍、野生型(WT)マウスの 31 倍も高親和性であるといえる。

実施例4:モノクローナル抗体と NL43 エンベロープとの結合

上記実施例2で作製した抗 HIV ペプチド(NL43)モノクローナル抗体が実際の NL43(HIVのエンベロープタンパク質)に対してin vitro で結合能を有するかを明 らかにするために、結合アッセイを実施した。

(1) 材料

(a) 抗 HIV (NL43)精製抗体

実施例2で作製した抗体を用いた。具体的には、以下に示す抗体を使用した。 Balb/c マウス:3クローン(クローン名:B1-10, B2-24, B2-27)、

野生型(WT)マウス:9クローン(クローン名:W1-2, W1-7, W1-8, W1-10, W1-21, W1-43, W1-45, W1-63, W1-84)

GANP トランスジェニック (Tg) マウス:8 クローン (クローン名:G1-22, G1-68, G1-124, G1-165, G1-181, G1-231, G2-10, G2-25)

また、対照として 70Z/3 2-28、0.5 β 及び anti-CD19 を用いた。

- (b) プラスミドベクター
- 10 pLP-IRES2-EGFP (Clontech 社)、pLP-NL4-3 envelope-EGFP を使用した。 本ベクターを用いることにより、単一の RNA からの目的遺伝子(NL43)と EGFP 両方の翻訳が可能となるので、蛍光を示す細胞のほぼ 100%は NL43 を発現する。
 - (c) 遺伝子導入試薬

Effectene Transfection Reagent (QIAGEN)を使用した。

15 (d) 2次抗体

APC 標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (BD Pharmingen)を使用した。

(2) 方法

結合アッセイは、エンベロープ(NL43)の発現をモニターするために、ヒト胎児 腎癌細胞株 (293 T細胞) に GFP を導入し、その細胞に抗 HIV (NL43)精製抗体 20 と APC 標識 2 次抗体を反応させ、細胞表面を染色する。次にフローサイトメトリーにより two-color 解析を行い、その蛍光強度によりエンベロープへの結合能をみるものである。

GFP 遺伝子の細胞への導入は、ヒト胎児腎癌細胞株(293 T細胞)を 10 cm ディッシュに 400000 個播き、1 日培養した後、Effectene Transfection Reagent を用い、pLP-IRES2-EGFP(Clontech 社)又は pLP-NL4-3-EGFP をそれぞれ 5 μg 導入した。36 時間培養した後、細胞を集め細胞表面染色を行った。細胞表面染色は、各 10 μg/mL の抗 HIV (NL43)精製抗体と、APC 標識ヤギ抗マウス IgG

抗体を50倍希釈したものを用いて、それぞれ氷上にて30分反応させた。

各抗 HIV モノクローナル抗体のエンベロープへの結合能 を、FACS Calibur を 用いて平均蛍光強度 (MFI) を算出することにより評価した。

(3) 結果

結合アッセイの結果を図4及び図5に示す。図4及び5は、GFP 陽性(+)と陰性(-)のそれぞれにゲートをかけた場合の平均蛍光強度(MFI)を棒グラフにしたものである。棒グラフは、pLP-NL4-3 envelope-EGFPを導入させた細胞において、GFP 陽性でのAPC 平均蛍光強度(MFI)が高いほど、エンベロープに有効に結合することを示す。結合アッセイの結果、GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいて作製したモノクローナル抗体(例えば G1-22、G1-68、G2-10、G2-25 クローン)は、エンベロープへの結合能を有することがわかった。

実施例5:モノクローナル抗体の中和活性

実施例4で使用した精製抗体を用いて、実際にそのモノクローナル抗体が L5 HIV-1 ウイルスの感染を阻止する能力を有するかを確認するために、ヒト CD4 陽性細胞における中和活性実験(ウイルス感染阻止実験)を行った。

(1) 材料

(a) 抗 HIV (NL43)精製抗体

実施例 4 で用いた各抗 HIV(NL43)精製抗体を使用した。また、対照として 70Z/3 20 2-28 及び 0.5 β を用いた。

(b) HIV-1 保存株

非働化した牛胎児血清 10%を添加した RPMI-1640 培地 にて PM1 細胞を増殖させ、-80℃で保存したものを使用した。

- (c) β ガラクトシダーゼ検出キット
- 25 β ガラクトシダーゼ検出キットは、Galacto-star(TROPIX)を使用した。エイズウイルス感染阻止 (中和活性) 実験において、本キットは、CD4 細胞(MAGI/CCR5) から産生される β ガラクトシダーゼを化学発光基質 (Reed-Muench 方法) を用

いて検出することによって、CD4 細胞の生死(生細胞数)を判定するものである。

(2) 方法

CD4細胞(MAGI/CCR5)を1日培養した後、一定のエイズウイルスを加えると、エイズウイルスにより感染した細胞からは、 β ガラクトシダーゼは検出されなくなる。このシステムにおいて、抗体の中和活性の測定は、エイズウイルス添加直前に、効力が異なる抗 HIV (NL43)精製抗体を上記 MAGI/CCR5 細胞にあらかじめ添加しておき、エイズウイルスを添加したときにエイズウイルスの感染を阻止できるか否かを、 β ガラクトシダーゼの産生量を指標として評価するものである。

この感染測定システムは、ウイルス感染に必要なウイルス量を高感度に決定することを可能とする。MAGI/CCR5 細胞による予備検討により、添加するウイルス量は、ウイルスの 50%終末点 (TCID50) を目安として、500 と決定した。

細胞を HIV に感染させるために、MAGI/CCR5 細胞を 1×104 /ウエルになるように 96 プレートで培養した。 1 日後、各抗体 $50\,\mu$ L を添加し、37^{\circ}で 30 分間 インキュベートした。続いて $10\,\mu$ g/mL の DEAE-dextran に反応させた HIV-1 溶液 $50\,\mu$ L を添加し、インキュベートした。添加したそれぞれの抗体濃度は、0.5、5 又は $50\,\mu$ g/mL の 3 濃度で実施した。 2 日後、 β ガラクトシダーゼ活性を Galacto-star(TROPIX)を用いて測定した。

(3) 結果

中和活性実験の結果を図6及び図7に示す。各抗体の中和活性を測定した結果、 20 GANPトランスジェニック(Tg)マウスにおいて作製した G2-10及び G2-25 クローンは、各濃度において表1に示す HIV 中和活性を持つことがわかった。

10

表 1

クローン名	濃度	中和活性 (感染阻止能力)
G2-10	$50\mu\mathrm{g/mL}$	$98.2\% \pm 1.2$
	$5\mu\mathrm{g/mL}$	$93.5\% \pm 1.7$
	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$70.9\% \pm 9.7$
G2-25	$50\mu\mathrm{g/mL}$	$101.2\%\pm0.4$
	$5\mu\mathrm{g/mL}$	$97.6\% \pm 1.6$
	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$86.3\%\pm2.4$
0.5 β	$0.5\mu\mathrm{g/mL}$	$86.5\% \pm 3.0$

実際に治療用抗体として利用する際には、微量で感染阻止する能力を有することが重要となるため、G2-10及びG2-25による上記の値は、非常に低濃度でHIV感染防止能力を示し、有効なHIV治療薬として利用可能と考えられる。

中和活性測定の陽性コントロールには HIV エンベロープそのものを免疫して作製されたとして用いている抗体 $(0.5\,\beta)$ を用いた(第 2797099 号特許)。0.5 β の $0.5\,\mu$ g/mL においての中和活性能力は 86.5 ± 3.0 に及ぶが、上記 2 クローン、特に G2-25 における in vitro 感染阻止能力は、その抗体 $(0.5\,\beta)$ と同等またはそれ以上であるといえる。

これに対して、野生型(WT)マウスにおいて作製した9クローンの抗体の中和活性は、低濃度 0.5μ g/mLにおいてほとんど中和活性が認められなかった。

10

15

実施例 4 及び 5 の結果は、GANP トランスジェニック(Tg) マウスで作製した 抗エイズペプチド(NL43)モノクローナル抗体が、実際に in vitro で HIV-1 ウイルスエンベロープに対して結合し(実施例 4)、その結合が強力な中和活性(感染阻止力)を有することを示している(実施例 5)。更に重要なことは解離定数 KD 値(9.90×10^{-11})を示すことから、一度結合するとその後長期間ウイルスと 結合し続けることのできる高親和性抗体グループであるという点である(実施例 3)。

20 このように強力なウイルス中和効果を持ち、抗原と解離する速度が著しく低い 高親和性モノクローナル抗体は、これまでに多くの研究室で試みられてきた HIV-1ウイルスの遺伝子配列から推定するペプチド配列を基に作製した通常のモ

ノクローナル抗体作製技術では得ることのできない優れたものである。野生型 C57BL/6 マウスに免疫して作製したモノクローナル抗体では $50\,\mu\,\mathrm{g/ml}$ の濃度で 初めて高い中和活性を示すのに対して、GANPトランスジェニック(Tg)マウス 由来の G2-10, G2-25 モノクローナル抗体は両者ともわずか $0.5\,\mu\,\mathrm{g/ml}$ 濃度においてそれらに匹敵する中和活性を発揮している。単純計算ではタンパク質濃度あたり 100 倍の中和活性を示し、また、その結合が 10^2 オーダーの長期間に渡って持続することが期待できる。

これらのマウス抗 HIV-1 モノクローナル抗体は、(a)ウイルスペプチド配列に特異的な高親和性抗体であること、(b)実際に in vitro で HIV-1 ウイルスエンベロープに対して結合すること、(c)in vitro でのヒト CD 4 陽性細胞への HIV-1 ウイルス感染を阻止できること、(d)従来法と異なる遺伝子変異マウスによって作製していることから新たなエピトープに対する抗体である可能性があること、(e)この新たな VH 領域は更にバイオテクノロジーによる遺伝子改変を加えることによって更に強力な抗体を作製する基盤情報を提供するという長所を有している。

GANPトランスジェニック(Tg)マウスを用いてエイズウイルスの感染阻止作用を持つ高親和性抗体が速やかに得られるということは、これまでの研究成果とその応用の計画が正当であることを証明したものである。従って、本発明は、感染症に脅かされている現代において画期的な治療法開発につながる発明である点で極めて有用である。

20

10

15

配列表フリーテキスト

配列番号7:プライマー

配列番号8:プライマー

25 産業上の利用可能性

本発明により、GANP遺伝子トランスジェニック非ヒト哺乳動物から得られる、 高親和性抗 HIV 抗体、及び該抗体を含む医薬組成物が提供される。本発明の抗体

は、KD=1.0×10⁻⁹(M)以下の高親和性を有しているため、本発明の抗体を含む医薬組成物は、後天性免疫不全症候群(AIDS)の治療薬として使用することができる。 さらに、本発明により、該抗体を産生する細胞、及び該抗体を利用した HIV の 検出キットも提供される。

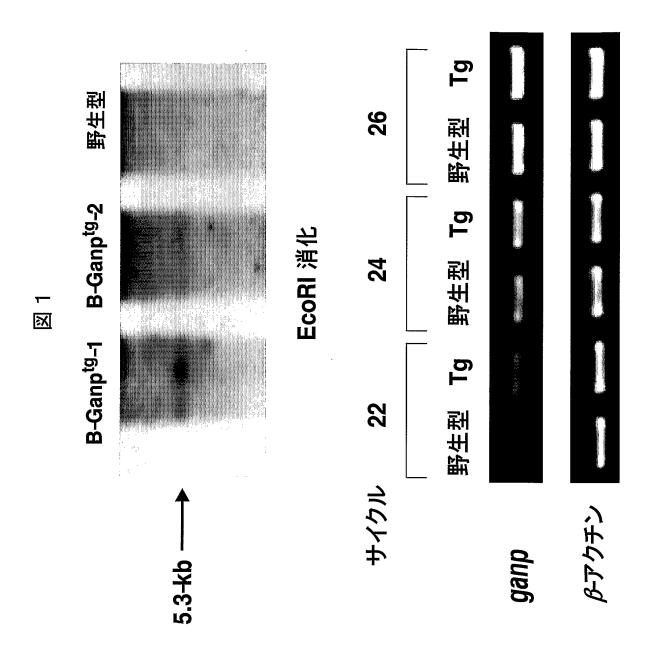
請求の範囲

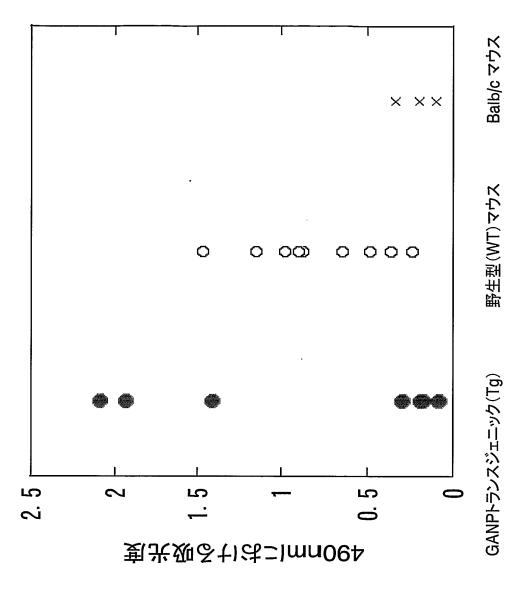
- 1. HIV の gp120 糖タンパク質と結合し、かつ、解離定数が KD=1.0×10⁻⁹(M) 以下の抗体又はその断片。
- 5 2. gp120 糖タンパク質のうち第 308-330 番目のアミノ酸配列の少なくとも一部 を認識することができる請求項 1 記載の抗体又はその断片。
 - 3. 第 308-330 番目のアミノ酸配列が配列番号 6 に示される ものである請求項 2 記載の抗体又はその断片。
- 4. ポリクローナル抗体又はモノクローナル抗体である、請求項 $1 \sim 3$ のいずれ か 1 項に記載の抗体又はその断片。
 - 5. 受託番号が FERM BP-08644 であるハイブリドーマ細胞により産生される、 HIV の gp120 糖タンパク質に対するモノクローナル抗体又 はその断片。
 - 6. 請求項4又は5記載の抗体又はその断片のV領域を含む、ヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片。
- 15 7.配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを 抗原として免疫した GANP トランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫 から採取される、高親和性抗体産生細胞。
 - 8. 受託番号が FERM BP-08644 である、HIV の gp120 糖pンパク質に対するモノクローナル抗体産生細胞。
- 20 9. GANPトランスジェニック非ヒト哺乳動物又はその子孫を、配列番号6に示すアミノ酸配列のうち少なくとも一部を含むポリペプチドを抗原として免疫し、得られる動物又は子孫から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
- 10.請求項7記載の細胞とミエローマ細胞との融合細胞、又は請求項8記載の 25 モノクローナル抗体産生細胞を培養し、得られる培養物から抗体を採取することを特徴とする、抗 HIV 抗体又はその断片の製造方法。
 - 11. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項6記

載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する医薬組成物。

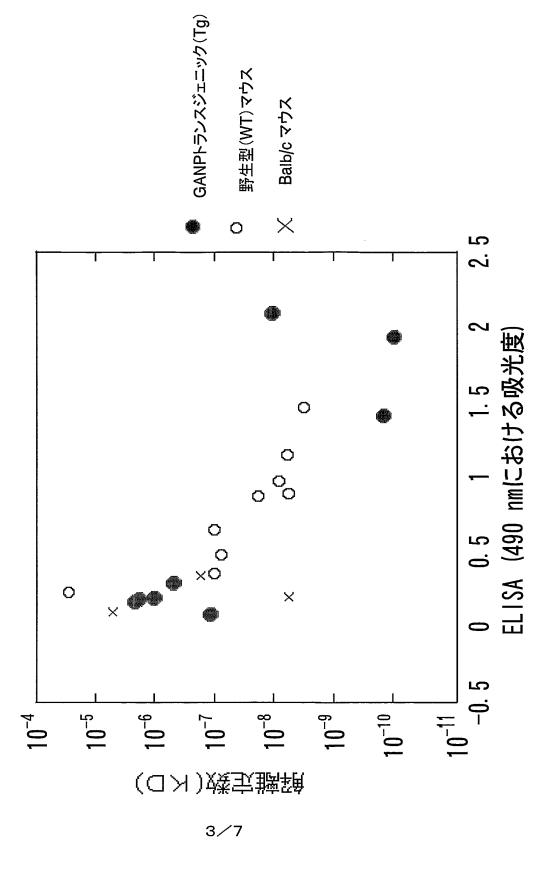
- 12. 後天性免疫不全症候群の治療薬である請求項11記載の医薬組成物。
- 13. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体若しくはその断片、又は請求項6記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体若しくはそれらの断片と、HIVのgp120糖タンパク質とを反応させることを特徴とするHIVの検出方法。
- 14. 請求項1~5のいずれか1項に記載の抗体又はその断片、及び請求項6記載のヒト型化抗体若しくはヒト抗体又はそれらの断片からなる群から選択される少なくとも1つを含有する HIV 検出用キット。

5

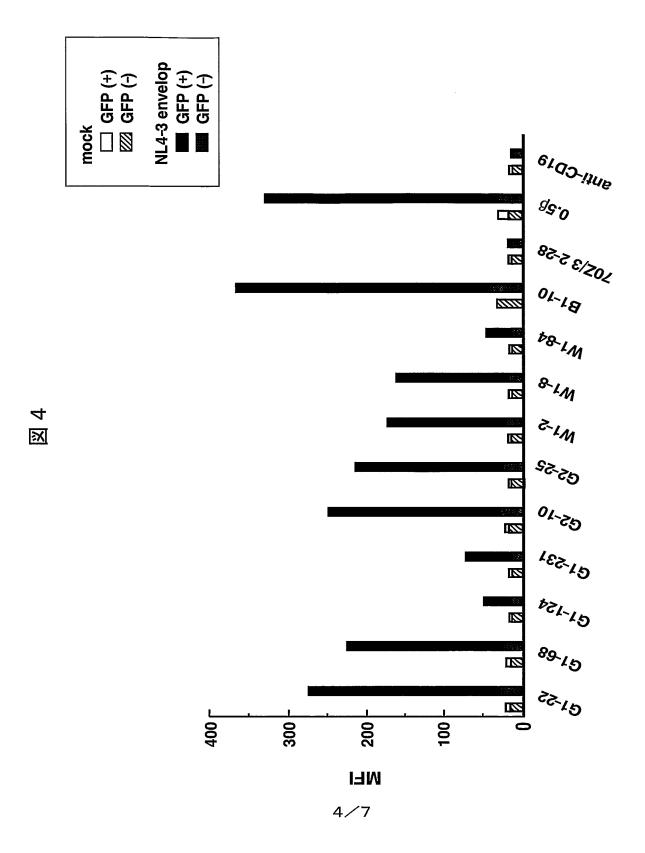


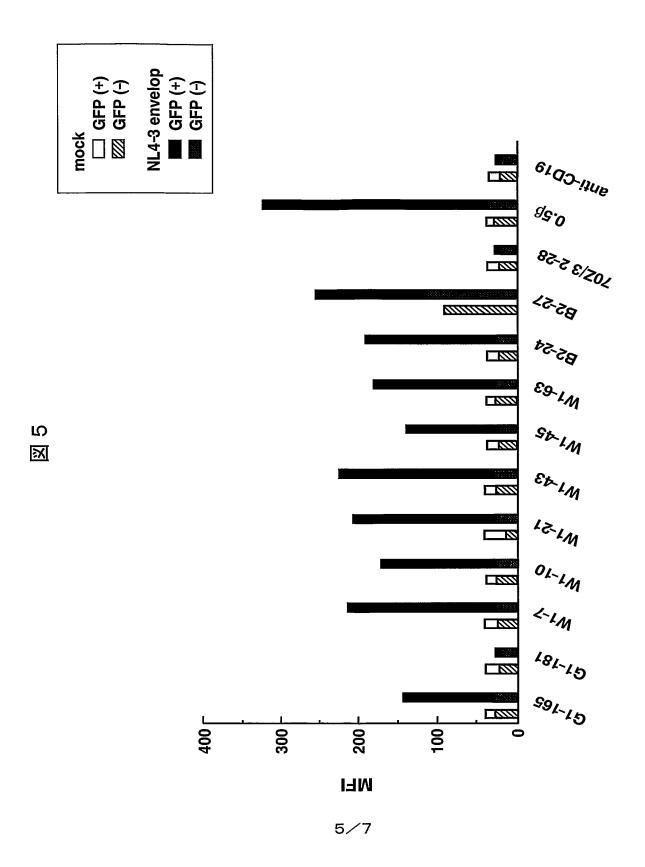


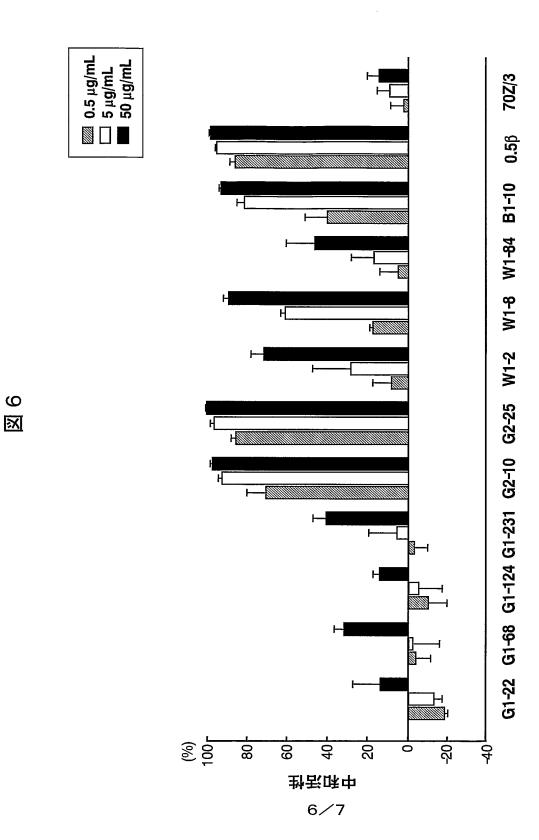
<u>図</u>

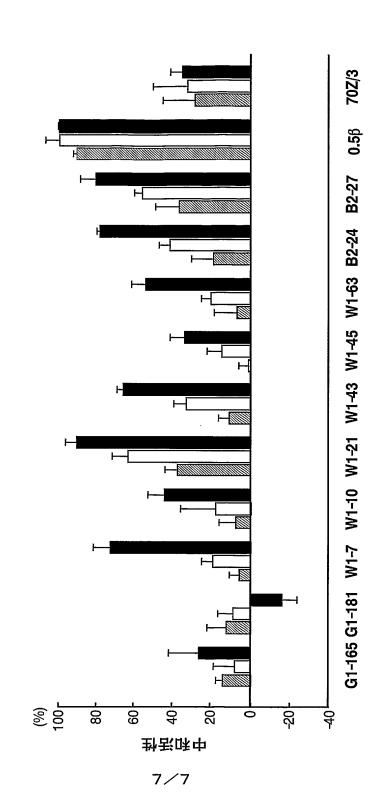


<u>図</u>









<u>図</u>

0.5 μg/mL 5 μg/mL 50 μg/mL

SEQUENCE LISTING

<110>	Kumamoto Technology & Industry Foundation	
<120>	anti-HIV antibody	
<130>	P03-0180 PCT	
<150> <151>		
<160>	9	
	PatentIn version 3.2	
<210>		
<211> <212>	6429 DNA	
<213>		
(220)		
<220>		
<221>		
<222>	(384) (6299)	
<400>	1	
gttgcg	gtgc ggtgggcccg gtagaggctg cacgcagact gtgggcgagc acaagcgctg	60
gcgacas	gtgg ccgtatctgg cggacttgct cctccctccg cggcctccgc tgtcccttgt	120
gtcttt	gccg agttgctgaa ggccttcact agtcttcgct cgaaggcgtc tgttaaccta	180
gcggccs	ggct tccggagtgt taagcatcgg ggataaaaaag ctattatttc tagaccaggg	240
catege	aagt togagttaco gggagaaaaa tgagatggto atootgagga tgaaggagag	300
cttccc	ctgg caacagataa tttaaagagg agagctactt gtgtatagtc catatttatt	360

WO 2005/058963 PCT/JP2004/003046 gccttcagat aattggcttg aag atg cac ccg gtg aac ccc ttc gga ggc agc Met His Pro Val Asn Pro Phe Gly Gly Ser agc cca agt gct ttt gcg gta tct tcc agc acc acg gga aca tat cag Ser Pro Ser Ala Phe Ala Val Ser Ser Ser Thr Thr Gly Thr Tyr Gln act aaa tca cca ttt cga ttt ggc cag cct tcc ctt ttt gga cag aac Thr Lys Ser Pro Phe Arg Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn age aca ece age aag age etg geg tit tea caa gia eea age tit gea Ser Thr Pro Ser Lys Ser Leu Ala Phe Ser Gln Val Pro Ser Phe Ala aca ccc tct gga gga agc cat tct tcc tcc ttg cca gca ttt gga ctc Thr Pro Ser Gly Gly Ser His Ser Ser Ser Leu Pro Ala Phe Gly Leu

acc caa acc tca agt gtg gga ctc ttc tct agt ctc gaa tcc aca cct

Thr Gln Thr Ser Ser Val Gly Leu Phe Ser Ser Leu Glu Ser Thr Pro

tct ttc gca gct act tcg agt tcc tct gtg ccc ggc aat acg gca ttc Ser Phe Ala Ala Thr Ser Ser Ser Ser Val Pro Gly Asn Thr Ala Phe

age ttt aag tea ace tet age gtt ggg gtt tte eea agt gge get act Ser Phe Lys Ser Thr Ser Ser Val Gly Val Phe Pro Ser Gly Ala Thr

ttt ggg cca gaa acc gga gaa gta gca ggt tct ggc ttt cgg aag acg Phe Gly Pro Glu Thr Gly Glu Val Ala Gly Ser Gly Phe Arg Lys Thr

gaa ttc aag ttt aaa cct ctg gaa aat gca gtc ttc aaa ccg ata ccg Glu Phe Lys Phe Lys Pro Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Pro

140 145 150

						att Ile		893
						gga Gly		941
						act Thr		989
						gcc Ala 215		1037
						gtt Val		1085
						ccc Pro		1133
						cca Pro		1181
						ctt Leu		1229
						tcc Ser 295		1277

WO 2	2005/0	58963	3						PCT/JP200	04/003046
					cct Pro					1325
					cgc Arg				gg t Gl y 33 0	1373
									gag Glu	1421
									gaa Glu	1469
									ac c Th r	1517
					gtg Val				ag t Se r	1565
									agt Ser 410	1613
									tta Leu	1661
									gac Asp	1709
									cgg Arg	1757

	WO 2	2005/0	58963	3]	PCT/JP2004	1/003046
		445					450					455				
												cat His			-	1805
												ggt Gly				1853
												ccc Pro				1901
												gcc Ala	-	_		1949
												aag Lys 535				1997
							Leu					cca Pro				2045
												cct Pro				2093
gga	tct	gag	ggc	tcc	gag	ggc	ctt	ggt	tct	tgc	gtg	tca	tct	ctt	agc	2141

5/64

Gly Ser Glu Gly Ser Glu Gly Leu Gly Ser Cys Val Ser Ser Leu Ser

acc ctg ata ggg act gtg gca gac aca tct gag gag aag tac cgc ctt

Thr Leu Ile Gly Thr Val Ala Asp Thr Ser Glu Glu Lys Tyr Arg Leu

	WO:	2005/	05896	3											PCT/J	P2004/003046
ctg	gac	cag	gaga	gac	cgc	atc	atg	cgg	caa	gct	cga	gtg	aag	agg	acg	2237
Leu	Asp	Gln	Arg	Asp	Arg	Ile	Met	Arg	Gln	Ala	Arg	Val	Lys	Arg	Thr	
		605					610					615				
gac	ctg	gac	aaa	gcc	agg	gca	ttt	gtt	ggg	act	tgc	cct	gac	atg	tgt	2285
													Asp			
	620					625					630					
ссс	gag	aag	gag	cgg	tac	ttg	agg	gag	acc	cgg	agc	cag	ctg	agc	gtg	2333
													Leu			
635					640					645					650	
ttt	gaa	gtt	gtc	cca	ggg	act	gac	cag	gtg	gac	cat	gca	gca	gcc	gtg	2381
Phe	Glu	Va1	Val	Pro	Gly	Thr	Asp	Gln	Val	Asp	His	Ala	A 1 a	Ala	Val	
				655					660					665		
													ctg			2429
Lys	Glu	Tyr		Arg	Ser	Ser	Ala	Asp	Gln	Glu	Glu	Pro	Leu	Pro	His	
			670					675					680			
gag	ctg	aga	ссс	tca	gca	gtt	ctc	agc	agg	acc	atg	gac	tac	ctg	gtg	2477
Glu	Leu	Arg	Pro	Ser	Ala	Val	Leu	Ser	Arg	Thr	Met	Asp	Tyr	Leu	Val	
		685					690					695				
													tgg			2525
Thr		Ile	Met	Asp	Gln	Lys	Glu	Gly	Ser	Leu	Arg	Asp	Trp	Tyr	Asp	
	700					705					710					
													ac a			2573
	Val	Trp	Asn	Arg		Arg	Gly	Ιlе	Arg	Lys	Asp	Ile	Th r	Gln	Gln	
715					720					725					730	
													tg t			2621
His	Leu	Cys	Asp		Leu	Thr	Val	Ser	Leu	Ile	G1 u	Lys	Суs	Thr	Arg	
				735					740					745		
ttt	cac	att	cac	tgt	gcc	cac	ttt	atg	tgt	gag	gag	cct	atg	tct	tcc	2669
Phe	His	Ile	His	Cys	Ala	His	Phe	Met	Cys	Glu	Glu	Pro	Me t	Ser	Ser	

750	755	760
	aac atg acc aag tgt Asn Met Thr Lys Cys 775	
	agg aac aag ggt gtt Arg Asn Lys Gly Val 790	
	aat gtc ctg ctt aat Asn Val Leu Leu Asn 805	
	cag ttc cac cct gac Gln Phe His Pro Asp 820	
	cag gct ttt gct gca Gln Ala Phe Ala Ala 835	
	ctg gtt cag tca gct Leu Val Gln Ser Ala 855	
	ttt aat cag atc cgc Phe Asn Gln Ile Arg 870	
	act gta agc aca cag Thr Val Ser Thr Gln 885	
	cgc atg ctg ctg ttc Arg Met Leu Leu Phe 900	

	WO 2	2005/0	58963	3											PCT/JP200	4/003046
													t gta r Val 920	Ala		3149
													g gag o Glu 5			3197
												s Le	g acg u Thi			3245
													t cct			3293
													t gga		Ser	3341
													t gga y Gly 100	7 As	c cca p Pro	3389
	ggt Gly		G13			gag Glu		C Z					gtg Val 1015	gac Asp		3434
			Ala					P r					tcc Ser 1030			3479
			Let) Le					gca Ala 1045			3524
agc	ctt	ctc	cag	gcc	tcc	acg	cag	g cc	t g	ag g	tg (ctg	ctt	cca	aag	3569

Ser Leu Leu Gln Ala Ser Thr Gln Pro Glu Val Leu Leu Pro Lys

	1050			1055			1060			
	cct Pro 1065			tcg Ser 1070			gtg Val 1075	gtg Val	-	3614
	atc Ile 1080			caa Gln 1085				gtc Val	_	3659
	ggg Gly 1095			gcc Ala 1100			gtt Val 1105	tcc Ser		3704
	gtg Val 1110			act Thr 1115				att Ile		3749
	gtt Val 1125			gtt Val 1130				aga Arg		3794
	gag Glu 1140			gag Glu 1145			aag Lys 1150	caa Gln		3839
							gcc Ala 1165			3884
							acc Thr 1180			3929
	cta Leu 1185						gtc Val 1195	cgt Arg		3974

wo 2	2005/05	58963							PCT/JP200	4/003046
		Cys			Ala		gat Asp 1210	Leu	ttt Phe	4019
	gag Glu 1215	Glu			Ala		ctc Leu 1225	Gln	gaa Glu	4064
cag Gln		Phe					gag Glu 1240	Ala	gtt Val	4109
gct Ala							ttc Phe 1255		gca Ala	4154
cca Pro							gca Ala 1270			4199
agc Ser							gcc Ala 1285			4244
							tcc Ser 1300			4289
							ata Ile 1315			4334
His				Leu			tgg Trp 1330			4379
	ctg Leu						atg Met	aag Lys		4424

	1335			1340			1345			
	agg Arg 1350			gtg Val 1355				gtg Val		4469
				ggc Gly 1370				tgg Trp		4514
gtc Val	aaa Lys 1380			gac Asp 1385				ata Ile		4559
	gct Ala 1395			acc Thr 1400				aca Thr		4604
				gtt Val 1415				ata Ile	_	4649
gct Ala	cat His 1425			gac Asp 1430				gtg Val		4694
							ctg Leu 1450			4739
				gag Glu 1460			gaa Glu 1465	ctg Leu		4784
							cag Gln 1480			4829

	wo 2	2005/05	8963							PCT/JP2004	4/003046
		cag Gln 1485			ctg Leu 1490				agc Ser		4874
_	ggg Gly	gac Asp 1500						ctg Leu 1510	atg Met		4919
								att Ile 1525			4964
	att Ile							gtg Val 1540	aag Lys	gtt Val	5009
		gca Ala 1545							gcc Ala	cta Leu	5054
		tgc Cys 1560						gat Asp 1570	ggg Gly		5099
-01	-0-	gag Glu 1575			ttt Phe 1580			aga Arg 1585	gag Glu	agg Arg	5144
		gct Ala 1590						att Ile 1600		gag Glu	5189
		aac Asn 1605						gta Val 1615		tct Ser	5234
		ctg Leu			tgg Trp			ttt Phe	gcc Ala		5279

1620)	1625	1630
gtg gga ggc Val Gly Gly 1635	Ser Gln Leu Leu	cct cac ctg cac tgg Pro His Leu His Trp 1640	
gag cat cta Glu His Leu 1650	Ala Trp Leu Lys	caa gct gtg ctt ggg Gln Ala Val Leu Gly 1655	
cca cag atg Pro Gln Met 1665	Asp Leu Pro Pro	cca ggg gcc ccc tgg Pro Gly Ala Pro Trp 1670	
	Val Ile Gln Tyr	acc tcc cag att ccc Thr Ser Gln Ile Pro 1685	
cag aca cag Gln Thr Gln 1695	Pro Val Leu Gln	tcc cag gcg gag aac Ser Gln Ala Glu Asn 1700	
aga aca tac Arg Thr Tyr 1710	Gln Lys Trp Lys	aac aag agc ctc tct Asn Lys Ser Leu Ser 1715	
	Pro Ser Val Ala	gag atc ccg tgg gat Glu Ile Pro Trp Asp 1730	
acc tta tgc Thr Leu Cys 1740	Ile Asn His Lys	ctg agg gac tgg aca Leu Arg Asp Trp Thr 1745	
ctc cct gtc Leu Pro Val 1755	Thr Leu Glu Ala	ctg agt gaa gat ggt Leu Ser Glu Asp Gly 1760	

	wo	2005/0	58963											PCT/JP2	004/003046
gtg	tat	ttt	ttc	aaa	aac	ctt	tta	aga	aaa	tac	cac	gtt	ссс	tcg	5729
												Val	Pro	Ser	
		1770					1775					1780			
tca	tgg	gaa	cag	gcc	aga	atg	cag	acg	cag	cgg	gaa	ctg	cag	ctg	5774
Ser	Trp	Glu	Gln	Ala	Arg	Met	Gln	Thr	Gln	Arg	G 1 u	Leu	Gln	Leu	
		1785					1790					1795			
		gga											aca	_	5819
Ser	His	Gly	Arg	Ser	Gly	Met		Ser	Ile	His	Pro		Thr	Ser	
		1800					1805					1810			
			,		, ,	1.1	1	,						0.0.0	E 0 G 1
		cct											aag		5864
Thr	Phe		Inr	Pro	Leu	Leu		v a i	нтѕ	GIII	Lys	Gly 1825	Lys	LyS	
		1815					1820					1020			
220	സമാ	gag	a or t	ססר	ന മ	៤ ១៤	Ծ Ծ Ծ	agc	ctc	agt	аса	gag	gac	ctc	5909
-		Glu										Glu			
ДуБ	Olu	1830	501	013	0		1835					1840			
ctg	cgg	ggg	gct	tct	gca	gaa	gag	ctc	ctg	gca	cag	agt	ctg	tcc	5954
Leu	Arg	Gly	Ala	Ser	Ala	Glu	Glu	Leu	Leu	Ala	G 1 n	Ser	Leu	Ser	
		1845					1850					1855			
		ctt										ttt			5999
Ser	Ser	Leu	Leu	Glu	Glu	Lys			Asn	Lys	Arg	Phe		Asp	•
		1860					1865					1870			
	, ,				1 1	1						++0	0.00	an a	6044
		cag												gag Glu	0044
Gln	Leu			lrp	Leu	Ser	1880		261	GIII	Ala	Phe 1885		Giu	
		1875					1000					1000			
tra	act	C & &	c t t	cc†	ctc	tac	ctc	cct	cag	acg	cta	gtg	tcc	ttt	6089
												Val		Phe	
501	* *** 1	1890				-,*	1895					1900			
		_ 0 0 0													
cct	gat	tct	ato	aaa	act	cag	acc	atg	gtg	aaa	aca	tct	aca	agt	6134
ъ			т1.	T	T1	C1-						Cor			

Pro Asp Ser Ile Lys Thr Gln Thr Met Val Lys Thr Ser Thr Ser

WO 2005/058963		PCT/JP2004/003046							
1905	1910	1915							
cct cag aat tca gga aca gga Pro Gln Asn Ser Gly Thr Gly 1920									
tcc ggt tca tcc ctg acg gaa Ser Gly Ser Ser Leu Thr Glu 1935	aag ctg aag ctc ctg Lys Leu Lys Leu Leu 1940								
atc cag agc tca agg gcg gaa Ile Gln Ser Ser Arg Ala Glu 1950	gaa gca gcc tcc gag Glu Ala Ala Ser Glu 1955								
tct gca ctg ctg gag atg gtg Ser Ala Leu Leu Glu Met Val 1965		cg ggagacggat 6319							
ctctaattca taatgctttg tctgta	ttca attgtgttat agatgc	tgtt ggaaatgtga 6379							
ctattaatta tgcaaataaa ctttttgaat cattccaaaa aaaaaaccat									
<210> 2 <211> 1971 <212> PRT <213> Mus musclus									
<400> 2									
Met His Pro Val Asn Pro Phe 1 5	Gly Gly Ser Ser Pro Se 10	r Ala Phe Ala 15							
Val Ser Ser Ser Thr Thr Gly	Thr Tyr Gln Thr Lys Se	r Pro Phe Arg							

Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn Ser Thr Pro Ser Lys Ser 35 40 45

Leu Ala Phe Ser Gln Val Pro Ser Phe Ala Thr Pro Ser Gly Gly Ser 50 55 60

His Ser Ser Ser Leu Pro Ala Phe Gly Leu Thr Gln Thr Ser Ser Val 70 75 80

Gly Leu Phe Ser Ser Leu Glu Ser Thr Pro Ser Phe Ala Ala Thr Ser 85 90 95

Ser Ser Ser Val Pro Gly Asn Thr Ala Phe Ser Phe Lys Ser Thr Ser 100 105 110

Ser Val Gly Val Phe Pro Ser Gly Ala Thr Phe Gly Pro Glu Thr Gly 115 120 125

Glu Val Ala Gly Ser Gly Phe Arg Lys Thr Glu Phe Lys Phe Lys Pro 130 135 140

Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Pro Gly Pro Glu Ser Glu Pro 145 150 155 160

Glu Lys Thr Gln Ser Gln Ile Ser Ser Gly Phe Phe Thr Phe Ser His 165 170 175

Pro Val Gly Ser Gly Ser Gly Leu Thr Pro Phe Ser Phe Pro Gln 180 185 190

Val	Thr	Asn 195	Ser	Ser	Val	Thr	Ser 200	Ser	Ser	Phe	11e	205	Ser	Lys	Pro
Val	Thr 210	Ser	Asn	Thr	Pro	Ala 215	Phe	Ala	Ser	Pro	Leu 220	Ser	Asn	Gln	Asn
Val 225	Glu	Glu	Glu	Lys	Arg 230	Val	Ser	Thr	Ser	Ala 235	Phe	Gly	Ser	Ser	Asn 240
Ser	Ser	Phe	Ser	Thr 245	Phe	Pro	Thr	Ala	Ser 250	Pro	Gly	Ser	Leu	Gly 255	Glu
Pro	Phe	Pro	A1a 260	Asn	Lys	Pro	Ser	Leu 265	Arg	Gln	Gly	Cys	Glu 270	Glu	Ala
Ile	Ser	G1n 275	Val	Glu	Pro	Leu	Pro 280	Thr	Leu	Met	Lys	Gly 285	Leu	Lys	Arg
Lys	Glu 290	Asp	Gln	Asp	Arg	Ser 295	Pro	Arg	Arg	His	Cys 300	His	Glu	Ala	Ala
G1u 305	Asp	Pro	Asp	Pro	Leu 310	Ser	Arg	Gly	Asp	His 315	Pro	Pro	Asp	Lys	Arg 320
Pro	Val	Arg	Leu	Asn 325	Arg	Pro	Arg	Gly	G1y 330	Thr	Leu	Phe	Gly	Arg	Thr

Ile Gln Glu Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Ala Gly Arg Leu Gly Ser 340 345 350

Lys Glu Ser Lys Glu Ser Gly Phe Ala Glu Pro Gly Glu Ser Asp His 355 360 365

Ala Ala Val Pro Gly Gly Ser Gln Ser Thr Met Val Pro Ser Arg Leu 370 375 380

Pro Ala Val Thr Lys Glu Glu Glu Glu Ser Arg Asp Glu Lys Glu Asp 385 390 395 400

Ser Leu Arg Gly Lys Ser Val Arg Gln Ser Lys Arg Arg Glu Glu Trp 405 410 415

Ile Tyr Ser Leu Gly Gly Val Ser Ser Leu Glu Leu Thr Ala Ile Gln
420 425 430

Cys Lys Asn Ile Pro Asp Tyr Leu Asn Asp Arg Ala Ile Leu Glu Lys 435 440 445

His Phe Ser Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg Val Phe Thr Arg Arg Ser 450 455 460

Lys Lys Leu Ala Val Ile His Phe Phe Asp His Ala Ser Ala Ala Leu 465 470 475 480

Ala Arg Lys Lys Gly Leu His Lys Asp Val Val Ile Phe Trp
485 490 495

His Lys Lys Lys Ile Ser Pro Ser Lys Lys Leu Phe Pro Leu Lys Glu 500 505 510

Lys Leu Gly Glu Ser Glu Ala Ser Gln Gly Ile Glu Asp Ser Pro Phe 515 520 525

Gln His Ser Pro Leu Ser Lys Pro Ile Val Arg Pro Ala Ala Gly Ser 530 535 540

Leu Leu Ser Lys Ser Ser Pro Val Lys Lys Pro Ser Leu Leu Lys Met 545 550 555 560

His Gln Phe Glu Ala Asp Pro Phe Asp Ser Gly Ser Glu Gly Ser Glu 565 570 575

Gly Leu Gly Ser Cys Val Ser Ser Leu Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val 580 585 590

Ala Asp Thr Ser Glu Glu Lys Tyr Arg Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg 595 600 605

Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg 610 620

Ala Phe Val Gly Thr Cys Pro Asp Met Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr 625 630 635 640

Leu Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser Val Phe Glu Val Val Pro Gly 645 650 655

Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser 660 665 670

Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro His Glu Leu Arg Pro Ser Ala 675 680 685

Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu Val Thr Gln Ile Met Asp Gln 690 695 700

Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr 705 710 715 720

Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln Gln His Leu Cys Asp Pro Leu 725 730 735

Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr Arg Phe His Ile His Cys Ala 740 745 750

His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn 755 760 765

Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln 770 775 780

Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln 785 790 795 800

Gly Tyr Asn Val Leu Leu Asn Leu Asn Lys Gly Asp Ile Leu Arg Glu 805 810 815

Val Gln Gln Phe His Pro Asp Val Arg Asn Ser Pro Glu Val Asn Phe 820 825 830

Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe 835 840 845

Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr Leu Asn Ala Cys Leu Leu His 850 855 860

Cys Tyr Phe Asn Gln Ile Arg Lys Asp Ala Leu Arg Ala Leu Asm Val 865 870 875 880

Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser Thr Val Phe Pro Leu Asp Gly 885 890 895

Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp Ser Glu Glu Ala Thr Asm Phe 900 905 910

Leu Asn Tyr His Gly Leu Thr Val Ala Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn 915 920 925

Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly Leu Cys Lys Ala Arg Lys Ser 930 935 940

Val Phe Ile Gly Arg Lys Leu Thr Val Ser Val Gly Glu Val Val Asn 945 950 955 960

- Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg His Thr Pro Val Cys Ser Phe 965 970 975
- Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Val Gly Glu Ser Leu Ala Thr Glu Leu Pro 980 985 990
- Ile Ser Thr Gln Arg Ala Gly Gly Asp Pro Ala Gly Gly Gly Arg Gly 995 1000 1005
- Glu Asp Cys Glu Ala Glu Val Asp Leu Pro Thr Leu Ala Val Leu 1010 1015 1020
- Pro Gln Pro Pro Pro Ala Ser Ser Ala Thr Pro Ala Leu His Val 1025 1030 1035
- Gln Pro Leu Ala Pro Ala Ala Ala Pro Ser Leu Leu Gln Ala Ser 1040 1045 1050
- Thr Gln Pro Glu Val Leu Leu Pro Lys Pro Ala Pro Val Tyr Ser 1055 1060 1065
- Asp Ser Asp Leu Val Gln Val Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala 1070 1075 1080
- Leu Gln Val Asp Cys Glu Glu Val Ser Ser Ala Gly Ala Ala Tyr 1085 1090 1095

Val Ala Ala Leu Gly Val Ser Asn Ala Ala Val Glu Asp Leu 1100 1105 1110

- Ile Thr Ala Ala Thr Thr Gly Ile Leu Arg His Val Ala Ala Glu 1115 1120 1125
- Glu Val Ser Met Glu Arg Gln Arg Leu Glu Glu Glu Lys Gln Arg 1130 1135 1140
- Ala Glu Glu Glu Arg Leu Lys Gln Glu Arg Glu Leu Met Leu Thr 1145 1150 1155
- Gln Leu Ser Glu Gly Leu Ala Ala Glu Leu Thr Glu Leu Thr Val 1160 1165 1170
- Thr Glu Cys Val Trp Glu Thr Cys Ser Gln Glu Leu Gln Ser Ala 1175 1180 1185
- Val Lys Ile Asp Gln Lys Val Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Ala 1190 - 1195 - 1200
- Val Cys Ala His Leu Val Asp Leu Phe Leu Ala Glu Glu Ile Phe 1205 1210 1215
- Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys 1220 1225 1230

Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu Ala Val Ala Ala Arg Lys Lys Phe 1235 1240 1245

- Arg Arg Gln Met Arg Ala Phe Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp 1250 1255 1260
- Val Asn Asp Arg Leu Gln Ala Leu Val Pro Ser Ala Glu Cys Pro 1265 1270 1275
- Ile Thr Glu Glu Asn Leu Ala Lys Gly Leu Leu Asp Leu Gly His 1280 1285 1290
- Ala Gly Lys Val Gly Val Ser Cys Thr Arg Leu Arg Arg Leu Arg 1295 1300 1305
- Asn Lys Thr Ala His Gln Ile Lys Val Gln His Phe His Gln Gln 1310 1315 1320
- Leu Leu Arg Asn Ala Ala Trp Ala Pro Leu Asp Leu Pro Ser Ile 1325 1330 1335
- Val Ser Glu His Leu Pro Met Lys Gln Lys Arg Arg Phe Trp Lys 1340 1345 1350
- Leu Val Leu Val Leu Pro Asp Val Glu Glu Gln Thr Pro Glu Ser 1355 1360 1365
- Pro Gly Arg Ile Leu Glu Asn Trp Leu Lys Val Lys Phe Thr Gly 1370 1375 1380

Asp Asp Ser Met Val Gly Asp Ile Gly Asp Asn Ala Gly Asp Ile 1385 1390 1395

- Gln Thr Leu Ser Val Phe Asn Thr Leu Ser Ser Lys Gly Asp Gln 1400 1405 1410
- Thr Val Ser Val Asn Val Cys IIe Lys Val Ala His Gly Thr Leu 1415 1420 1425
- Ser Asp Ser Ala Leu Asp Ala Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu 1430 1435 1440
- Gly Thr Ser Gly Leu Met Leu Leu Pro Pro Lys Val Lys Ser 1445 1450 1455
- Glu Glu Val Ala Glu Glu Glu Leu Ser Trp Leu Ser Ala Leu Leu 1460 1465 1470
- Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln Ala Lys Pro Phe Gln Pro Ala Leu 1475 1480 1485
- Pro Leu Val Val Leu Val Pro Ser Ser Arg Gly Asp Ser Ala Gly 1490 1495 1500
- Arg Ala Val Glu Asp Gly Leu Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala 1505 1510 1515

Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Ile Val Val Glu Ile Pro Asp Ser Val 1520 1525 1530

- Asn Asp Leu Gln Gly Thr Val Lys Val Ser Gly Ala Val Gln Trp 1535 1540 1545
- Leu Ile Ser Gly Cys Pro Gln Ala Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr 1550 1560
- Leu Val Gln Tyr Val Glu Asp Gly Ile Ser Arg Glu Phe Ser Arg 1565 1570 1575
- Arg Phe Phe His Asp Arg Arg Glu Arg Arg Leu Ala Ser Leu Pro 1580 1585 1590
- Ser Gln Glu Pro Ser Thr Ile Ile Glu Leu Phe Asn Ser Val Leu 1595 1600 1605
- Gln Phe Leu Ala Ser Val Val Ser Ser Glu Gln Leu Cys Asp Ile 1610 1615 1620
- Ser Trp Pro Val Met Glu Phe Ala Glu Val Gly Gly Ser Gln Leu 1625 1630 1635
- Leu Pro His Leu His Trp Asn Ser Pro Glu His Leu Ala Trp Leu 1640 1650
- Lys Gln Ala Val Leu Gly Phe Gln Leu Pro Gln Met Asp Leu Pro 1655 1660 1665

Pro Pro	Gly	Ala	Pro	Trp	Leu	Pro	Val	Cys	Ser	Met	٧al	lle	Gln
1670					1675					1680			

- Tyr Thr Ser Gln Ile Pro Ser Ser Ser Gln Thr Gln Pro Val Leu 1685 1690 1695
- Gln Ser Gln Ala Glu Asn Leu Leu Cys Arg Thr Tyr Gln Lys Trp 1700 1705 1710
- Lys Asn Lys Ser Leu Ser Pro Gly Gln Glu Leu Gly Pro Ser Val 1715 1720 1725
- Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro Pro Arg Leu Pro Val Thr Leu Glu 1745 1750 1755
- Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn 1760 1765 1770
- Leu Leu Arg Lys Tyr His Val Pro Ser Ser Trp Glu Gln Ala Arg 1775 1780 1785
- Met Gln Thr Gln Arg Glu Leu Gln Leu Ser His Gly Arg Ser Gly 1790 1795 1800

Met	Arg	Ser	Ile	His	Pro	Pro	Thr	Ser	Thr	Phe	Pro	Thr	Pro	Leu
	1805					1810					1815			

- Leu His Val His Gln Lys Gly Lys Lys Glu Glu Ser Gly Arg 1820 1825 1830
- Glu Gly Ser Leu Ser Thr Glu Asp Leu Leu Arg Gly Ala Ser Ala 1835 1840 1845
- Glu Glu Leu Leu Ala Gln Ser Leu Ser Ser Leu Leu Glu Glu 1850 1855 1860
- Lys Glu Glu Asn Lys Arg Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu 1865 1870 1875
- Ser Gln Asp Ser Gln Ala Phe Thr Glu Ser Thr Arg Leu Pro Leu 1880 1885 1890
- Tyr Leu Pro Gln Thr Leu Val Ser Phe Pro Asp Ser Ile Lys Thr 1895 1900 1905
- Gln Thr Met Val Lys Thr Ser Thr Ser Pro Gln Asn Ser Gly Thr 1910 1915 1920
- Gly Lys Gln Leu Arg Phe Ser Glu Ala Ser Gly Ser Ser Leu Thr 1925 1930 1935
- Glu Lys Leu Lys Leu Glu Arg Leu Ile Gln Ser Ser Arg Ala 1940 1945 1950

Glu Glu Ala Ala Ser Glu Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Glu Met 1955 1960 1965

Val Asp Met 1970

<210> 3

<211> 6114

<212> DNA

<213> Homo sapiens

<220>

<221> CDS

 $\langle 222 \rangle$ (38).. (5977)

<400> 3

gtaatactta attaccttct aataattgga gcagaag atg aac cca act aat cct 55

Met Asn Pro Thr Asn Pro

1 5

ttc agt ggg cag cag cct agt gct ttt tcg gcg tct tct agt aat gta

103

Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser Ala Ser Ser Ser Asn Val

10 15 20

gga aca ctt cca tct aag ccg cca ttt cga ttt ggt caa cct tct ctt

Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg Phe Gly Gln Pro Ser Leu

25 30 35

ttt gga caa aac agt acc tta tct ggg aag agc tcg gga ttt tca cag

Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys Ser Ser Gly Phe Ser Gln

40

45

50

gta tcc agc ttt cca gcg tct tct gga gta agt cat tcc tct tca gtg 247

	wo	2005/0)58963	3											PCT/JP2004	/003046
Val 55	Ser	Ser	Phe	Pro	Ala 60	Ser	Ser	Gly	Val	Ser 65	His	Ser	Ser	Ser	Val 70	
	aca Thr															295
	gag Glu															343
	gtg Val															391
	gct Ala 120															439
gtg	aac	tct	ggt	ttt	ggg	aaa	aca	gaa	t t c	agc	ttt	aaa	cct	ctg	gaa	487

Val Asn Ser Gly Phe Gly Lys Thr Glu Phe Ser Phe Lys Pro Leu Glu aat gca gtg ttc aaa cca ata ctg ggg gct gaa tct gag cca gag aaa Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Leu Gly Ala Glu Ser Glu Pro Glu Lys acc cag agc caa att gct tct ggg ttt ttt aca ttt tcc cac cca att Thr Gln Ser Gln Ile Ala Ser Gly Phe Phe Thr Phe Ser His Pro Ile agt agt gca cct gga ggc ctg gcc cct ttc tct ttt cct caa gta aca Ser Ser Ala Pro Gly Gly Leu Ala Pro Phe Ser Phe Pro Gln Val Thr agt agt tca gct acc act tca aat ttt acc ttt tca aaa cct gtt agt Ser Ser Ser Ala Thr Thr Ser Asn Phe Thr Phe Ser Lys Pro Val Ser

30/64

	aat Asn															72 7
	gag Glu															775
	agc Ser															823
	cag Gln															871
	cag Gln 280															919
	gac Asp															967
	tcg Ser				Ser					Pro						1015
	cgc Arg															1063
	gat Asp															111 1
gag	gcc	aaa	aag	gaa	ac t	ggc	ttt	gtt	gag	tct	gca	gaa	agt	gac	cac	1159

Glu Ala Lys Lys Glu Thr Gly Phe Val Glu Ser Ala Glu Ser Asp His atg gct atc cca gga ggg aat cag tct gtc ctg gca cct tcc cgg att Met Ala Ile Pro Gly Gly Asn Gln Ser Val Leu Ala Pro Ser Arg Ile cca ggt gtg aat aaa gag gaa gaa act gaa agt aga gag aag aaa gaa Pro Gly Val Asn Lys Glu Glu Glu Thr Glu Ser Arg Glu Lys Lys Glu gat tet eta aga gga act eeg geg egt eag agt aac aga age gag age Asp Ser Leu Arg Gly Thr Pro Ala Arg Gln Ser Asn Arg Ser Glu Ser aca gac agt ctt ggg ggc ttg tct ccc tct gaa gtc aca gcc atc cag Thr Asp Ser Leu Gly Gly Leu Ser Pro Ser Glu Val Thr Ala Ile Gln tgc aag aac atc cct gac tac ctc aac gac agg acc att ctg gag aac Cys Lys Asn Ile Pro Asp Tyr Leu Asn Asp Arg Thr Ile Leu Glu Asn cat ttt ggc aaa att gct aaa gtg cag cgc atc ttt acc agg cgc agc His Phe Gly Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg Ile Phe Thr Arg Arg Ser aaa aag ctt gca gtg gta cat ttc ttt gat cat gca tct gca gcc ctg Lys Lys Leu Ala Val Val His Phe Phe Asp His Ala Ser Ala Ala Leu gct aga aag aag ggg aaa agt ttg cat aaa gac atg gct atc ttt tgg Ala Arg Lys Lys Gly Lys Ser Leu His Lys Asp Met Ala Ile Phe Trp cac agg aag aaa ata agc ccc aat aag aaa ccc ttt tcc ctg aag gag His Arg Lys Lys Ile Ser Pro Asn Lys Lys Pro Phe Ser Leu Lys Glu

														gca Ala		1639
														gct Ala		1687
														cta Leu 565		1735
														ggc Gly		1783
														ggc Gly		1831
														aga Arg		1879
														aaa Lys		1927
														gag Glu 645		1975
														gtc Val		2023
ggg	ac t	gac	cag	gtg	gac	cac	gca	gca	gct	gtg	aaa	gag	tac	agt	cgg	2071

Gly Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala Val Lys Glu Tyr Ser Arg tcc tcg gcg gat cag gag gag ccc ctg ccc cac gag ctg cgg ccc ttg Ser Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro His Glu Leu Arg Pro Leu cca gtg ctc agc agg acc atg gac tac ctg gtg acc cag atc atg gac Pro Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu Val Thr Gln Ile Met Asp cag aag gag ggc agc ctg cgg gat tgg tat gac ttc gtg tgg aac cgc Gln Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr Asp Phe Val Trp Asn Arg acg cgt ggc ata cgg aag gat atc acg cag cag cac ctc tgt gac ccc Thr Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln Gln His Leu Cys Asp Pro ctg acg gtg tcc ctg att gag aag tgc acc cgg ttt cac atc cac tgt Leu Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr Arg Phe His Ile His Cys gcc cac ttc atg tgt gag gag ccc atg tcc tcc ttt gat gcc aag atc Ala His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser Ser Phe Asp Ala Lys Ile aat aat gag aac atg acc aag tgc ctg cag agc ctg aag gag atg tac Asn Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln Ser Leu Lys Glu Met Tyr cag gac ctg aga aac aag ggt gtc ttc tgt gcc agc gaa gcg gag ttc Gln Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys Ala Ser Glu Ala Glu Phe cag ggc tac aat gtt ctg ctc agt ctc aac aag gga gac atc cta aga Gln Gly Tyr Asn Val Leu Leu Ser Leu Asn Lys Gly Asp Ile Leu Arg

_						cct Pro										2551
						gct Ala 845										2599
						tca Ser										2647
						atc Ile										2695
						aca Thr										2743
						ctg Leu										2791
						ctc Leu 925										2839
						gaa Glu										2887
						aag Lys										2935
aac	gga	ggg	cca	ttg	ccc	ccc	gtc	cct	cgt	cac	acc	cct	gtg	tgc	agc	2983

Asn Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg His Thr Pro Val Cys Ser 970 975 980 ttc aac tcc cag aac aag tac atc ggg gag agc ctg gcc gcg gag ctg 3031 Phe Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Ile Gly Glu Ser Leu Ala Ala Glu Leu 985 990 995 ccc gtc agc acc cag aga ccc ggc tcc gac aca gtg ggc gga ggg 3076 Ser Thr Gln Arg Pro Gly Ser Asp Thr Val Gly Gly Gly 1000 1005 1010 aga gga gag tgt ggt gta gag ccg gat gca ccc ctg tcc agt 3121 Arg Gly Glu Glu Cys Gly Val Glu Pro Asp Ala Pro Leu Ser Ser 1015 1020 1025 ctc cca cag tot cta cca gcc cct gcg ccc tca cca gtg cct ctg 3166 Pro Ala Pro Ser Pro Gln Ser Leu Pro Ala Leu Pro Val Pro Leu 1030 1035 1040 cct cct gtc ctg gca ctg acc ccg tct gtg gcg ccc agc ctc ttc 3211 Pro Pro Val Leu Ala Leu Thr Pro Ser Val Ala Pro Ser Leu Phe 1045 1050 1055 cag ctg tct gtg cag cct gaa cca ccg cct cca gag 3256 Gln Leu Ser Val Gln Pro Glu Pro Pro Pro Glu Pro Val Pro 1060 1065 1070 atg tac tct gac gag gac ctg gcg cag gtg gtg gac gag ctc atc 3301 Met Tyr Ser Asp Glu Asp Leu Ala Gln Val Val Asp Glu Leu Ile 1075 1080 1085 gcc ctg cag agg gac tgt gag gaa gtt ggc tct gcg ggt cag gag 3346 Gln Glu Ala Leu Gln Arg Asp Cys Glu Glu Val Gly Ser Ala Gly 1090 1095 1100 gct gcc tac gca gct gcc gcc ctg ggt gtt tct aat gct gct atg 3391 Ala Ala Tyr Ala Ala Ala Leu Gly Val Ser Asn Ala Ala Met 1105 1110 1115

						gca Ala 1125									3436
	gct Ala 1135					aag Lys 1140						gag Glu			3481
	cag Gln 1150					gaa Glu 1155									3526
	tta Leu 1165					cag Gln 1170								-	3571
	gtg Val 1180					gtg Val 1185						cag Gln			3616
	aat Asn 1195					gac Asp 1200									3661
	gag Glu 1210					cac His 1215									3706
	atc Ile 1225					aag Lys 1230									3751
						cgg Arg 1245									3796
aag	aaa	ctg	agg	cgc	caa	atg	cgg	gct	ttc	cct	gct	gcg	ссс	tgc	3841

Lys	Lys 1255	Leu	Arg	Arg	Gln	Met 1260	Arg	Ala	Phe	Pro	Ala 1265	Ala	Pro	Cys	
	gtg Val 1270					cgg Arg 1275									3886
	tgc Cys 1285					gag Glu 1290									3931
_	ggc Gly 1300					ttg Leu 1305							tta Leu		3976
	ctc Leu 1315					gct Ala 1320									4021
	cag Gln 1330					gat Asp 1335									4066
	tcc Ser 1345					cac His 1350							cat His		4111
	tgg Trp 1360					gtg Val 1365									4156
	gag Glu 1375	_	-		_	att Ile 1380									4201
	atg Met 1390					tca Ser 1395									4246

	ggg Gly 1405					tcg Ser 1410						agc Ser			4291
	gat Asp 1420					gtt Val 1425						gtg Val			4336
	gcc Ala 1435					gcc Ala 1440						aca Thr			4381
	ctc Leu 1450					ggg Gly 1455									4426
	aag Lys 1465					gca Ala 1470						tgg Trp			4471
	ttg Leu 1480					cag Gln 1485									4516
	gcg Ala 1495					gtt Val 1500							ggg Gly		4561
	gtt Val 1510					gaa Glu 1515								ttg Leu	4606
	tca Ser 1525					tca Ser 1530	Asp								4651
gat	acc	att	aat	gat	cta	caa	ggt	tca	act	aag	gtt	ttg	caa	gca	4696

Asp	Thr 1540	Ile	Asn	Asp	Leu	Gln 1545	Gly	Ser	Thr	Lys	Val 1550	Leu	Gln	Ala	
	cag Gln 1555					cac His 1560						gac Asp			4741
-	cag Gln 1570					tac Tyr 1575									4786
	agt Ser 1585					cat His 1590									4831
-	ctt Leu 1600					cct Pro 1605									4876
	gtg Val 1615					gct Ala 1620									4921
	gac Asp 1630					gtc Val 1635						gca Ala			4966
_	cgg Arg 1645					ctg Leu 1650									5011
						gtg Val 1665									5056
gac Asp						gcc Ala 1680									5101

	gtc Val 1690										cgc Arg 1700				5146
	gtc Val 1705					gtg Val 1710						aga Arg			5191
	agg Arg 1720										cat His 1730				5236
	tcg Ser 1735										atc Ile 1745				5281
	aac Asn 1750										cgg Arg 1760				5326
	tca Ser 1765										tgt Cys 1775				5371
ttt Phe	aaa Lys 1780										ttg Leu 1790				5416
caa G1n	gcc Ala 1795										ctg Leu 1805				5461
	ttg Leu 1810											aat Asn			5506
ata	cca	ttg	ctt	cac	atg	cac	cgt	aac	tgg	aag	agg	agc	aca	gag	5551

Ile	Pro 1825	Leu	Leu	Ніѕ	Met	His 1830	Arg	Asn	Trp	Lys	Arg 1835	Ser	Thr	Glu	
	gct Ala 1840					att Ile 1845									5596
	gct Ala 1855					ctc Leu 1860									5641
	ctg Leu 1870					gag Glu 1875									5686
	caa G1n 1885					gac Asp 1890					-	gat Asp			5731
	ctt Leu 1900					cct Pro 1905						ctt Leu			5776
	att Ile 1915					aaa Lys 1920									5821
	gac Asp 1930					caa G1n 1935									5866
	tgt Cys 1945					cta Leu 1950									5911
	tca Ser 1960					gtt Val 1965									5956

ctg cta gac atg gtg gac att tgagcagcct gacctgtggg gagggggtct 6007 Leu Leu Asp Met Val Asp Ile 1975 1980

ctcccgaaga gtttctgttt ttactcaaaa taatgttatt ctcagatgct tgatgcactg 6067

ttggaaatgt gattaattta atcatgcaga taaaccattt aaatgtc 6114

<210> 4

<211> 1980

<212> PRT

<213> Homo sapiens

<400> 4

Met Asn Pro Thr Asn Pro Phe Ser Gly Gln Gln Pro Ser Ala Phe Ser 1 5 10 15

Ala Ser Ser Ser Asn Val Gly Thr Leu Pro Ser Lys Pro Pro Phe Arg 20 25 30

Phe Gly Gln Pro Ser Leu Phe Gly Gln Asn Ser Thr Leu Ser Gly Lys 35 40 45

Ser Ser Gly Phe Ser Gln Val Ser Ser Phe Pro Ala Ser Ser Gly Val 50 55 60

Ser His Ser Ser Ser Val Gln Thr Leu Gly Phe Thr Gln Thr Ser Ser 65 70 75 80

Val Gly Pro Phe Ser Gly Leu Glu His Thr Ser Thr Phe Val Ala Thr

90 95

Ser Gly Pro Ser Ser Ser Ser Val Leu Gly Asn Thr Gly Phe Ser Phe 100 105 110

Lys Ser Pro Thr Ser Val Gly Ala Phe Pro Ser Thr Ser Ala Phe Gly
115 120 125

Gln Glu Ala Gly Glu Ile Val Asn Ser Gly Phe Gly Lys Thr Glu Phe 130 135 140

Ser Phe Lys Pro Leu Glu Asn Ala Val Phe Lys Pro Ile Leu Gly Ala 145 150 155 160

Glu Ser Glu Pro Glu Lys Thr Gln Ser Gln Ile Ala Ser Gly Phe Phe 165 170 175

Thr Phe Ser His Pro Ile Ser Ser Ala Pro Gly Gly Leu Ala Pro Phe 180 185 190

Ser Phe Pro Gln Val Thr Ser Ser Ser Ala Thr Thr Ser Asn Phe Thr 195 200 205

Phe Ser Lys Pro Val Ser Ser Asn Asn Ser Leu Ser Ala Phe Thr Pro 210 215 220

Ala Leu Ser Asn Gln Asn Val Glu Glu Glu Lys Arg Gly Pro Lys Ser 225 230 235 240

Ile Phe Gly Ser Ser Asn Asn Ser Phe Ser Ser Phe Pro Val Ser Ser 245 250 255

Ala Val Leu Gly Glu Pro Phe Gln Ala Ser Lys Ala Gly Val Arg Gln 260 265 270

Gly Cys Glu Glu Ala Val Ser Gln Val Glu Pro Leu Pro Ser Leu Met 275 280 285

Lys Gly Leu Lys Arg Lys Glu Asp Gln Asp Arg Ser Pro Arg Arg His 290 295 300

Gly His Glu Pro Ala Glu Asp Ser Asp Pro Leu Ser Arg Gly Asp His 305 310 315 320

Pro Pro Asp Lys Arg Pro Val Arg Leu Asn Arg Pro Arg Gly Gly Thr 325 330 335

Leu Phe Gly Arg Thr Ile Gln Asp Val Phe Lys Ser Asn Lys Glu Val 340 345 350

Gly Arg Leu Gly Asn Lys Glu Ala Lys Lys Glu Thr Gly Phe Val Glu 355 360 365

Ser Ala Glu Ser Asp His Met Ala Ile Pro Gly Gly Asn Gln Ser Val 370 375 380

Leu Ala Pro Ser Arg Ile Pro Gly Val Asn Lys Glu Glu Glu Thr Glu

385 390 395 400

Ser Arg Glu Lys Lys Glu Asp Ser Leu Arg Gly Thr Pro Ala Arg Gln
405 410 415

Ser Asn Arg Ser Glu Ser Thr Asp Ser Leu Gly Gly Leu Ser Pro Ser 420 425 430

Glu Val Thr Ala IIe Gln Cys Lys Asn IIe Pro Asp Tyr Leu Asn Asp 435 440 445

Arg Thr Ile Leu Glu Asn His Phe Gly Lys Ile Ala Lys Val Gln Arg 450 455 460

Ile Phe Thr Arg Arg Ser Lys Lys Leu Ala Val Val His Phe Phe Asp 465 470 475 480

His Ala Ser Ala Ala Leu Ala Arg Lys Lys Gly Lys Ser Leu His Lys 485 490 495

Asp Met Ala Ile Phe Trp His Arg Lys Lys Ile Ser Pro Asn Lys Lys 500 505 510

Pro Phe Ser Leu Lys Glu Lys Lys Pro Gly Asp Gly Glu Val Ser Pro 515 520 525

Ser Thr Glu Asp Ala Pro Phe Gln His Ser Pro Leu Gly Lys Ala Ala 530 535 540

Gly	Arg	Thr	Gly	Ala	Ser	Ser	Leu	Leu	Asn	Lуs	Ser	Ser	Pro	Val	Lys
545					550					555					560

- Lys Pro Ser Leu Leu Lys Ala His Gln Phe Glu Gly Asp Ser Phe Asp 565 570 575
- Ser Ala Ser Glu Gly Ser Glu Gly Leu Gly Pro Cys Val Leu Ser Leu 580 585 590
- Ser Thr Leu Ile Gly Thr Val Ala Glu Thr Ser Lys Glu Lys Tyr Arg 595 600 605
- Leu Leu Asp Gln Arg Asp Arg Ile Met Arg Gln Ala Arg Val Lys Arg 610 615 620
- Thr Asp Leu Asp Lys Ala Arg Thr Phe Val Gly Thr Cys Leu Asp Met 625 630 635 640
- Cys Pro Glu Lys Glu Arg Tyr Met Arg Glu Thr Arg Ser Gln Leu Ser 645 650 655
- Val Phe Glu Val Val Pro Gly Thr Asp Gln Val Asp His Ala Ala Ala 660 665 670
- Val Lys Glu Tyr Ser Arg Ser Ser Ala Asp Gln Glu Glu Pro Leu Pro 675 680 685
- His Glu Leu Arg Pro Leu Pro Val Leu Ser Arg Thr Met Asp Tyr Leu

690 695 700

Val Thr Gln Ile Met Asp Gln Lys Glu Gly Ser Leu Arg Asp Trp Tyr 705 710 715 720

Asp Phe Val Trp Asn Arg Thr Arg Gly Ile Arg Lys Asp Ile Thr Gln 725 730 735

Gln His Leu Cys Asp Pro Leu Thr Val Ser Leu Ile Glu Lys Cys Thr 740 745 750

Arg Phe His Ile His Cys Ala His Phe Met Cys Glu Glu Pro Met Ser 755 760 765

Ser Phe Asp Ala Lys Ile Asn Asn Glu Asn Met Thr Lys Cys Leu Gln 770 775 780

Ser Leu Lys Glu Met Tyr Gln Asp Leu Arg Asn Lys Gly Val Phe Cys 785 790 795 800

Ala Ser Glu Ala Glu Phe Gln Gly Tyr Asn Val Leu Leu Ser Leu Asn 805 810 815

Lys Gly Asp Ile Leu Arg Glu Val Gln Gln Phe His Pro Ala Val Arg 820 825 830

Asn Ser Ser Glu Val Lys Phe Ala Val Gln Ala Phe Ala Ala Leu Asn 835 840 845

Ser Asn Asn Phe Val Arg Phe Phe Lys Leu Val Gln Ser Ala Ser Tyr 850 855 860

Leu Asn Ala Cys Leu Leu His Cys Tyr Phe Ser Gln Ile Arg Lys Asp 865 870 875 880

Ala Leu Arg Ala Leu Asn Phe Ala Tyr Thr Val Ser Thr Gln Arg Ser 885 890 895

Thr Ile Phe Pro Leu Asp Gly Val Val Arg Met Leu Leu Phe Arg Asp 900 905 910

Cys Glu Glu Ala Thr Asp Phe Leu Thr Cys His Gly Leu Thr Val Ser 915 920 925

Asp Gly Cys Val Glu Leu Asn Arg Ser Ala Phe Leu Glu Pro Glu Gly 930 935 940

Leu Ser Lys Thr Arg Lys Ser Val Phe Ile Thr Arg Lys Leu Thr Val 945 950 955 960

Ser Val Gly Glu IIe Val Asn Gly Gly Pro Leu Pro Pro Val Pro Arg 965 970 975

His Thr Pro Val Cys Ser Phe Asn Ser Gln Asn Lys Tyr Ile Gly Glu 980 985 990

Ser Leu Ala Ala Glu Leu Pro Val Ser Thr Gln Arg Pro Gly Ser Asp

995	1000	1005
000	1000	1000

Thr	Val	Gly	Gly	Gly	Arg	Gly	Glu	Glu	Cys	Gly	Val	Glu	Pro	Asp
	1010					1015					1020			

- Ala Pro Leu Ser Ser Leu Pro Gln Ser Leu Pro Ala Pro Ala Pro 1025 1030 1035
- Ser Pro Val Pro Leu Pro Pro Val Leu Ala Leu Thr Pro Ser Val 1040 1045 1050
- Ala Pro Ser Leu Phe Gln Leu Ser Val Gln Pro Glu Pro Pro 1055 1060 1065
- Pro Glu Pro Val Pro Met Tyr Ser Asp Glu Asp Leu Ala Gln Val 1070 1075 1080
- Val Asp Glu Leu Ile Gln Glu Ala Leu Gln Arg Asp Cys Glu Glu 1085 1090 1095
- Val Gly Ser Ala Gly Ala Ala Tyr Ala Ala Ala Ala Leu Gly Val 1100 1105 1110
- Ser Asn Ala Ala Met Glu Asp Leu Leu Thr Ala Ala Thr Thr Gly 1115 1120 1125
- Ile Leu Arg His Ile Ala Ala Glu Glu Val Ser Lys Glu Arg Glu 1130 1135 1140

Arg Arg Glu Gln Glu Arg Gln Arg Ala Glu Glu Glu Arg Leu Lys 1145 1150 1155

- Gln Glu Arg Glu Leu Val Leu Ser Glu Leu Ser Gln Gly Leu Ala 1160 1165 1170
- Val Glu Leu Met Glu Arg Val Met Met Glu Phe Val Arg Glu Thr 1175 1180 1185
- Cys Ser Gln Glu Leu Lys Asn Ala Val Glu Thr Asp Gln Arg Val 1190 1195 1200
- Arg Val Ala Arg Cys Cys Glu Asp Val Cys Ala His Leu Val Asp 1205 1210 1215
- Leu Phe Leu Val Glu Glu Ile Phe Gln Thr Ala Lys Glu Thr Leu 1220 1225 1230
- Gln Glu Leu Gln Cys Phe Cys Lys Tyr Leu Gln Arg Trp Arg Glu 1235 1240 1245
- Ala Val Thr Ala Arg Lys Lys Leu Arg Arg Gln Met Arg Ala Phe 1250 1255 1260
- Pro Ala Ala Pro Cys Cys Val Asp Val Ser Asp Arg Leu Arg Ala 1265 1270 1275
- Leu Ala Pro Ser Ala Glu Cys Pro Ile Ala Glu Glu Asn Leu Ala

1280	1285	1290

Arg	Gly	Leu	Leu	Asp	Leu	Gly	His	Ala	Gly	Arg	Leu	Gly	Ile	Ser	
	1295					1300					1305				

Ile Lys Val Ala His Gly Ala Leu Ser Asp Gly Ala Ile Asp Ala 1430 1435 1440

- Val Glu Thr Gln Lys Asp Leu Leu Gly Ala Ser Gly Leu Met Leu 1445 1450 1455
- Leu Leu Pro Pro Lys Met Lys Ser Glu Asp Met Ala Glu Glu Asp 1460 1465 1470
- Val Tyr Trp Leu Ser Ala Leu Leu Gln Leu Lys Gln Leu Leu Gln 1475 1480 1485
- Ala Lys Pro Phe Gln Pro Ala Leu Pro Leu Val Val Leu Val Pro 1490 1495 1500
- Ser Pro Gly Gly Asp Ala Val Glu Lys Glu Val Glu Asp Gly Leu 1505 1510 1515
- Met Leu Gln Asp Leu Val Ser Ala Lys Leu Ile Ser Asp Tyr Thr 1520 1530
- Val Thr Glu Ile Pro Asp Thr Ile Asn Asp Leu Gln Gly Ser Thr 1535 1540 1545
- Lys Val Leu Gln Ala Val Gln Trp Leu Val Ser His Cys Pro His 1550 1560
- Ser Leu Asp Leu Cys Cys Gln Thr Leu Ile Gln Tyr Val Glu Asp

1565	1570	1575

Gly	Ile	Gly	His	Glu	Phe	Ser	Gly	Arg	Phe	Phe	His	Asp	Arg	Arg
	1580					1585					1590			

Leu His Arg Thr Tyr Cys Arg Trp Lys Ser Lys Ser Pro Ser Pro 1715 1720 1725

- Val His Gly Ala Gly Pro Ser Val Met Glu Ile Pro Trp Asp Asp 1730 1735 1740
- Leu Ile Ala Leu Cys Ile Asn His Lys Leu Arg Asp Trp Thr Pro 1745 1750 1755
- Pro Arg Leu Pro Val Thr Ser Glu Ala Leu Ser Glu Asp Gly Gln 1760 1765 1770
- Ile Cys Val Tyr Phe Phe Lys Asn Asp Leu Lys Lys Tyr Asp Val 1775 1780 1785
- Pro Leu Ser Trp Glu Gln Ala Arg Leu Gln Thr Gln Lys Glu Leu 1790 1795 1800
- Gln Leu Arg Glu Gly Arg Leu Ala Ile Lys Pro Phe His Pro Ser 1805 1810 1815
- Ala Asn Asn Phe Pro Ile Pro Leu Leu His Met His Arg Asn Trp 1820 1825 1830
- Lys Arg Ser Thr Glu Cys Ala Gln Glu Gly Arg Ile Pro Ser Thr 1835 1840 1845
- Glu Asp Leu Met Arg Gly Ala Ser Ala Glu Glu Leu Leu Ala Gln

1850 1855 1860

Cys Leu Ser Ser Ser Leu Leu Leu Glu Lys Glu Glu Asn Lys Arg

1865 1870 1875

Phe Glu Asp Gln Leu Gln Gln Trp Leu Ser Glu Asp Ser Gly Ala

1880 1885 1890

Phe Thr Asp Leu Thr Ser Leu Pro Leu Tyr Leu Pro Gln Thr Leu

1895 1900 1905

Val Ser Leu Ser His Thr Ile Glu Pro Val Met Lys Thr Ser Val

1910 1915 1920

Thr Thr Ser Pro Gln Ser Asp Met Met Arg Glu Gln Leu Gln Leu

1925 1930 1935

Ser Glu Ala Thr Gly Thr Cys Leu Gly Glu Arg Leu Lys His Leu

1940 1945 1950

Glu Arg Leu Ile Arg Ser Ser Arg Glu Glu Glu Val Ala Ser Glu

1955 1960 1965

Leu His Leu Ser Ala Leu Leu Asp Met Val Asp Ile

1970 1975 1980

<210> 5

<211> 863

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 5

Lys Glu Gln Lys Thr Val Ala Met Arg Val Lys Glu Lys Tyr Gln His 1 5 10 15

Leu Trp Arg Trp Gly Trp Arg Trp Gly Thr Met Leu Leu Gly Met Leu 20 25 30

Met Ile Cys Ser Ala Thr Glu Lys Leu Trp Val Thr Val Tyr Tyr Gly 35 40 45

Val Pro Val Trp Lys Glu Ala Thr Thr Thr Leu Phe Cys Ala Ser Asp 50 55 60

Ala Lys Ala Tyr Asp Thr Glu Val His Asn Val Trp Ala Thr His Ala 65 70 75 80

Cys Val Pro Thr Asp Pro Asn Pro Gln Glu Val Val Leu Val Asn Val 85 90 95

Thr Glu Asn Phe Asn Met Trp Lys Asn Asp Met Val Glu Gln Met His
100 105 110

Glu Asp Ile Ile Ser Leu Trp Asp Gln Ser Leu Lys Pro Cys Val Lys 115 120 125

Leu Thr Pro Leu Cys Val Ser Leu Lys Cys Thr Asp Leu Lys Asn Asp 130 135 140

Thr	Asn	Thr	Asn	Ser	Ser	Ser	Gly	Arg	Met	Ιlе	Met	Glu	Lys	Gly	Glu
145					150					155					160

- Ile Lys Asn Cys Ser Phe Asn Ile Ser Thr Ser Ile Arg Gly Lys Val 165 170 175
- Gln Lys Glu Tyr Ala Phe Phe Tyr Lys Leu Asp Ile Ile Pro Ile Asp 180 185 190
- Asn Asp Thr Thr Ser Tyr Thr Leu Thr Ser Cys Asn Thr Ser Val Ile 195 200 205
- Thr Gln Ala Cys Pro Lys Val Ser Phe Glu Pro Ile Pro Ile His Tyr 210 215 220
- Cys Ala Pro Ala Gly Phe Ala Ile Leu Lys Cys Asn Asn Lys Thr Phe 225 230 235 240
- Asn Gly Thr Gly Pro Cys Thr Asn Val Ser Thr Val Gln Cys Thr His 245 250 255
- Gly Ile Arg Pro Val Val Ser Thr Gln Leu Leu Leu Asn Gly Ser Leu 260 265 270
- Ala Glu Glu Val Val Ile Arg Ser Ala Asn Phe Thr Asp Asn Ala 275 280 285

8963 PCT/JP2004/003	3046
8963 PC	T/ JP2 004/00

Lys	Thr	Ile	Ile	Val	Gln	Leu	Asn	G l n	Ser	V a 1	Glu	Ile	Asn	Cys	Thr
	290					295					300				

Arg	Pro	Asn	Asn	Asn	Thr	Arg	Lys	Ser	Ile	Arg	Ile	Gln	Arg	Gly	Pro
305					310					315					320

Met Trp Gln Glu Val Gly Lys Ala Met Tyr Ala Pro Pro Ile Ser Gly
435 440 445

Gln Ile Arg Cys Ser Ser Asn Ile Thr Gly Leu Leu Leu Thr Arg Asp 450 455 460

Gly Gly Asn Ser Asn Asn Glu Ser Glu Ile Phe Arg Pro Gly Gly 465 470 475 480

Asp Met Arg Asp Asn Trp Arg Ser Glu Leu Tyr Lys Tyr Lys Val Val
485 490 495

Lys Ile Glu Pro Leu Gly Val Ala Pro Thr Lys Ala Lys Arg Arg Val 500 505 510

Val Gln Arg Glu Lys Arg Ala Val Gly Ile Gly Ala Leu Phe Leu Gly 515 520 525

Phe Leu Gly Ala Ala Gly Ser Thr Met Gly Ala Ala Ser Met Thr Leu 530 535 540

Thr Val Gln Ala Arg Gln Leu Leu Ser Gly II e Val Gln Gln Gln Asn 545 555 560

Asn Leu Leu Arg Ala Ile Glu Ala Gln Gln His Leu Leu Gln Leu Thr 565 570 575

Val Trp Gly Ile Lys Gln Leu Gln Ala Arg Ile Leu Ala Val Glu Arg 580 585 590

Tyr Leu Lys Asp Gln Gln Leu Leu Gly Ile Trp Gly Cys Ser Gly Lys 595 600 605

Leu Ile Cys Thr Thr Ala Val Pro Trp Asn Ala Ser Trp Ser Asn Lys 610 615 620

Ser Leu Glu Gln Ile Trp Asn Asn Met Thr Trp Met Glu Trp Asp Arg 625 630 635 640

Glu Ile Asn Asn Tyr Thr Ser Leu Ile His Ser Leu Ile Glu Glu Ser 645 650 655

Gln Asn Gln Glu Lys Asn Glu Gln Glu Leu Leu Glu Leu Asp Lys 660 665 670

Trp Ala Ser Leu Trp Asn Trp Phe Asn Ile Thr Asn Trp Leu Trp Tyr 675 680 685

Ile Lys Leu Phe Ile Met Ile Val Gly Gly Leu Val Gly Leu Arg Ile 690 695 700

Val Phe Ala Val Leu Ser Val Val Asn Arg Val Arg Gln Gly Tyr Ser 705 710 715 720

Pro Leu Ser Phe Gln Thr His Leu Pro Ile Pro Arg Gly Pro Asp Arg 725 730 735

Pro Glu Gly Ile Glu Glu Glu Gly Gly Glu Arg Asp Arg Ser 740 745 750

Ile Arg Leu Val Asn Gly Ser Leu Ala Leu Ile Trp Asp Asp Leu Arg 755 760 765

Ser Leu Cys Leu Phe Ser Tyr His Arg Leu Arg Asp Leu Leu Leu Ile 770 775 780

Val Thr Arg Ile Val Glu Leu Leu Gly Arg Arg Gly Trp Glu Ala Leu 785 790 795 800

Lys Tyr Trp Trp Asn Leu Leu Gln Tyr Trp Ser Gln Glu Leu Lys Asn 805 810

Ser Ala Val Ser Leu Leu Asn Ala Thr Ala Ile Ala Val Ala Glu Gly 820 825 830

Thr Asp Arg Val Ile Glu Val Val Gln Gly Ala Tyr Arg Ala Ile Arg 835 840 845

His Ile Pro Arg Arg Ile Arg Gln Gly Leu Glu Arg Ile Leu Leu 850 855 860

<210> 6

<211> 23

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 6

Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg Ala

1 5 10 15

Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile 20

<210> 7

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

<400> 7

tcccgccttc cagctgtgac 20

<210> 8

<211> 20

<212> DNA

<213> Artificial sequence

<220>

<223> primer

<400> 8

gtgctgctgt gttatgtcct 20

<210> 9

<211> 24

<212> PRT

<213> retroviral provirus

<400> 9

Cys Asn Asn Thr Arg Lys Ser Ile Arg Ile Gln Arg Gly Pro Gly Arg

1 10 15

Ala Phe Val Thr Ile Gly Lys Ile $20 \\ 61/64$

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/003046

A. CLASSIFIC	ATION OF SUBJECT MATTER									
Int.Cl ⁷	Int.Cl7 C07K16/10, C12N15/09, C12P21/08, A61K39/42, G01N33/563									
According to Inte	ernational Patent Classification (IPC) or to both nationa	l classification and IPC								
B. FIELDS SE	ARCHED									
	nentation searched (classification system followed by cla									
Int.Cl'	C07K16/10, C12N15/09, C12P21/	'08, A61K39/42, G01N33/5	563							
	•									
Documentation s	earched other than minimum documentation to the exter	nt that such documents are included in the	fields searched							
		·								
CA(STN)	ase consulted during the international search (name of decision), REGISTRY(STN), MEDLINE(STN), SFILE (JOIS), SwissProt/PIR/Gen	BIOSIS(STN), WPIDS(STN								
C. DOCUMEN	TS CONSIDERED TO BE RELEVANT		-							
Category*	Citation of document, with indication, where ap	propriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.							
Х	LAMAN J.D. et al., Variant-sp		1-6							
	and group-specific polyclonal									
	<pre>immunodeficiency virus type 1 antibodies raised with synthe</pre>									
	from the gp120 third variable									
	1992, Vol.66, No.3, pages 182		· 							
37			1 (
Х	BOUDET F. et al., Anti-Idioty to the Third Variable Domain		1-6							
	an Anti-HIV-1 Antibody Respon									
	Virology, 1994, Vol.200, No.1									
	•									
,										
			•							
× Further do	cuments are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.								
"A" document de	gories of cited documents: efining the general state of the art which is not considered	"T" later document published after the inte date and not in conflict with the applica	ation but cited to understand							
	icular relevance cation or patent but published on or after the international	"X" the principle or theory underlying the in document of particular relevance; the c	laimed invention cannot be							
filing date "L" document w	hich may throw doubts on priority claim(s) or which is	considered novel or cannot be considered when the document is taken alone								
cited to esta	ablish the publication date of another citation or other on (as specified)	"Y" document of particular relevance; the c								
•	ferring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	considered to involve an inventive combined with one or more other such	documents, such combination							
	ablished prior to the international filing date but later than	being obvious to a person skilled in the "&" document member of the same patent f								
the priority o	rate claimed .	accument member of the same patent i								
Date of the actua	l completion of the international search	Date of mailing of the international sear-								
09 Apri	1, 2004 (09.04.04)	27 April, 2004 (27.	04.04)							
	İ									
	g address of the ISA/	Authorized officer								
Japanes	se Patent Office									
Facsimile No		Telephone No.								

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP2004/003046

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	ABE E. et al., Structure, expression, and chromosomal localization of the human gene encoding a germinal center-associated nuclear protein (GANP) that associates with MCM3 involved in the initiation of DNA replication., Gene, 2000, Vol.255, No.2, pages 219 to 227	7-14
A	Kazuhiko KUWABARA, "Kogen Tokuiteki B Saibo no Kasseika to GANP Bunshi no Men'eki Oto ni Okeru Kino", Molecular Medicine, special extra issu, Men'eki 2004, 10 December, 2003 (10.12.03), Vol.40, pages 40 to 48	7-14

	属する分野の分類(国際特許分類(IPC)) /K16/10, C12N15/09, C12P21/08, A61K39/42, C	G01N33/563		
D 細木ナダ	ニーを八郎			
調査を行った最	テった分野 長小限資料(国際特許分類(IPC)) /K16/10, C12N15/09, C12P21/08, A61K39/42, G	01N33/563		
最小限資料以夕	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの			
国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) CA(STN), EGISTRY(STN), MEDLINE(STN), BIOSIS(STN), WPIDS(STN), JSTPLUSファイル(JOIS) SwissProt/PIR/Genbank/EMBL/DDBJ/GeneSeq				
	ると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連すると	ときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号	
X X	LAMAN J.D. et al., Variant-specific polyclonal human immunodeficiency viantibodies raised with synthetic per variable domain., J Virol. 1992, Vol. BOUDET F. et al., Anti-Idiotypic Anti-Domain of gp120 Induce an Anti-HIV-1 Virology, 1994, Vol. 200, No. 1, p. 176	rus type 1 neutralizing otides from the gp120 third 66, No. 3, p. 1823-1831 cibodies to the Third Variable Antibody Response in Mice.,	1-6	
X C欄の続き	とにも文献が列挙されている。	パテントファミリーに関する別	紙を参照。 	
「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 「T」国際出版もの 出願と 出願と 以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 「Y」特に関文献 (理由を付す) 上の文 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 よって		の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表さ出願と矛盾するものではなく、多の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当の新規性又は進歩性がないと考え 「Y」特に関連のある文献であって、当上の文献との、当業者にとって追よって進歩性がないと考えられる「&」同一パテントファミリー文献	送明の原理又は理論 当該文献のみで発明 さられるもの 当該文献と他の1以 自明である組合せに	
国際調査を完了	アレた日 09.04.2004	国際調査報告の発送日 27.4.2	004	
日本国	D名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915 那千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 佐久 敬 電話番号 03-3581-1101	4B 3037 内線 3448	

<u>C(続き).</u> 引用文献の カモブリーギ	関連すると認められる文献	関連する	
<u>カテゴリー*</u> A	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示 ABE E. et al., Structure, expression, and chromosomal localization of the human gene encoding a germinal center—associated nuclear protein (GANP) that associates with MCM3 involved in the initiation of DNA replication., Gene, 2000, Vol. 255, No. 2, p. 219-227	請求の範囲の番号 7-14	
A	桑原一彦他、抗原特異的B細胞の活性化とGANP分子の免疫応答における機能、Molecular Medicine 臨時増刊号 免疫2004, 2003.12.10, Vol. 40, p. 40-48	7–14	
	,	,	
·			
		·	